

平成31年度

シラバス

富山県立小矢部園芸高等学校

平成31年度 シラバス
目 次

教科	科目	1年次	2年次	3年次	
国語	国語総合	1	16		
地理歴史	世界史A			25	
	日本史A	2			
	地理A	3			
公民	現代社会		17	26	
数学	数学I	4			
理科	科学と人間生活	5			
	化学基礎			27	
	生物基礎		18		
保健体育	体育	6	19	28	
	保健	7	20		
芸術	音楽I	8			
	美術I	9			
	書道I	10			
外国語	コミュニケーション英語I	11	21		
家庭	家庭総合	12	22		
農業	農業と環境	13			
	課題研究		23	29	
	総合実習	14 (1) 野菜		24 (1) 野菜	30 (1) 野菜
		14 (2) 草花		24 (2) 草花	30 (2) 草花
		14 (3) 造園		24 (3) 造園	30 (3) 造園
14 (4) 作物			24 (4) 作物		
農業情報処理	15				

N	O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
1		国語	国語総合	2 / 4 (2年次まで継続履修)	必履修
開講年次		選択群	系列	使用教科書・教材	
1	なし	なし	・高等学校 改訂版 新編国語総合 (第一学習社)		
学習の目標			<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識を定着させ、進んで読み、適切に話し、聞き、書こうとする姿勢を身に付ける。 ・目的や場に応じた話し方や言葉遣いを身につけ、コミュニケーションがとれるようになる。 ・自分の考えをまとめて、相手や目的に応じた文章を筋道を立てて書く力を付ける。 ・文章を的確に読み取る力を養い、積極的に読書に親しむ態度を身に付ける。 ・話し方・言葉遣い・文法・表記・語句・漢字等の基礎的な知識を身に付ける。 		
単元・作品名		学習内容	到達度目標		
前期	表現の実践 スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に準備し、聞き手を意識した紹介ができる。 ・話を的確に聞き取り、適切に評価することができる。 		
	楽しい出会い 「身近な動植物 の名を覚えよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・音読、黙読 ・漢字、語彙 ・構成(段落分け等) ・内容読解 ・作文 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の意味を理解し、正しく読むことができる。 ・漢字や語句の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・抽象的な語句や指示語の指す内容を把握し、筆者の主張を読み取っている。 ・筆者の意見に対して、自分の意見をまとめることができる。 		
	小説を読む(一) 「指」 鷲沢 萌	<ul style="list-style-type: none"> ・音読・黙読・感想 ・内容読解(登場人物の関係・言動・心の動き・性格) ・テーマ・作文 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話文に留意し、内容にふさわしい朗読ができる。 ・漢字や語句の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・登場人物の言動から、表に表れない心の動きを読み取り、人物像を捉えている。 ・作品のテーマを自分自身の問題として考え、表現できる。 		
	表現の実践 《漢字・語彙力》	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習う漢字を正しく読み、書くことができる。 ・漢字の音と訓や熟語の構造、送り仮名を理解している。 		
後期	表現の実践 《表現力を 身に付ける》	<ul style="list-style-type: none"> ・作文・手紙を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・5W1Hや係り受けに留意した文章を書くことができる。 ・文体を統一して文章を書くことができる。 ・手紙の基本的な形式を理解し、書くことができる。 		
	小説を読む(二) 「羅生門」 芥川龍之介	<ul style="list-style-type: none"> ・音読・黙読・感想 ・漢字・語彙 ・構成(段落分け等) ・内容読解(心理の推移、展開等) ・主題(グループ討議) ・後日譚 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面を捉えて、朗読できる。 ・漢字や語句の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・作品の舞台(時代・場所等)、状況、展開を把握している。 ・主人公の心理の推移、行動の理由を理解している。 ・小説を自分の問題として読み、考えを表現し、人の意見を聞いて考えを深めることができる。 ・主人公を把握し、後日譚を書くことができる。 		
	表現の実践 《漢字・語彙力》	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習う漢字を正しく読み、書くことができる。 ・漢字の音と訓や熟語の構造、送り仮名を理解している。 		
	古文入門 「鳩と蟻のこと」	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・歴史的仮名遣い 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを理解し、正しく読むことができる。 ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに改めることができる。 		
	古文に親しむ 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> ・書写・音読 ・口語訳・心情 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解し、正しく音読できる。 ・省略された主語や助詞などを補って口語訳できる。 ・登場人物の気持ちや、話の面白さを理解している。 		
漢文入門 訓読に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の構造 ・訓点・書き下し文 ・音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の構造、訓点を理解し、返り点に従って訓読することができる。 ・漢文訓読に親しみ、成語や格言の意味を理解している。 			
取得可能な検定や資格					
<ul style="list-style-type: none"> ・日本漢字能力検定 日本漢字能力検定2級を取得すると2単位、準2級を取得すると1単位の増加単位として認定される。(国語総合を修得した場合に限る) 					

N	O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
2		地理歴史	日本史 A	2	選択必修
開講年次		選択群	系列	使用教科書・教材	
1		日本史 A 地理 A	なし	実教出版「高校日本史 A 新訂版」	
学習の目標			<ul style="list-style-type: none"> 日本の近現代史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を多面的に理解する。 歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。 日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身に付ける。 		
単元・項目		学習内容	到達度目標		
前期	東アジアとの交流 近代への転換	原始・古代・中世・近世 異国船の接近と幕藩体制の動揺 開国と社会変動	<ul style="list-style-type: none"> 近現代につながる日本の前近代の歴史を東アジアとの関わりから理解している。 安定した社会が次第に変化して幕府政治が行き詰まっていく過程を説明できる。 		
	大日本帝国の形成	尊皇攘夷から倒幕へ 明治維新と新政府の成立 地租改正と富国強兵 新政府の近隣外交 民権思想と国会開設運動 松方財政と秩父事件 大日本帝国憲法の制定 初期議会と日清戦争 条約改正と日英同盟 日露戦争 産業革命と社会問題 重工業の発達と財閥の成立	<ul style="list-style-type: none"> 開国の影響とその後の幕府政治の推移について幕末の貿易状況のグラフなどの資料から判断できる。 開国から江戸幕府滅亡までの経過の概要を理解し、年表等を使って説明できる。 新政府の諸政策の内容や意図の概要を理解している。 地租改正や富国強兵政策を日本が置かれた国際的立場から理解し、それらの内容や意図を説明できる。 日本が朝鮮を開国させた背景を当時の国際関係から理解している。 自由民権運動の背景を理解し、その運動と政府の対応についての概要を説明できる。 松方財政を経済理論の立場から理解し、経済や社会への影響を判断できる。 大日本帝国憲法の内容を理解し、その制定意図を説明できる。 19世紀後半の国際情勢から日清戦争をとらえ、なぜ戦争が勃発したのか理解している。 条約改正に至る過程を国際的な地位の向上と大陸との関係において理解し、説明できる。 日露戦争に関わる欧米各国と日本との利害関係や戦争の国内への影響を理解し、この戦争の歴史的意義を説明できる。 産業革命によって、都市や農山漁村の生活が大きく変化したことを理解している。 日本の財閥が経済社会に与えた影響の大きさを知り、現在の企業グループとの関連を説明できる。 		
	大日本帝国の展開	朝鮮の植民地化 大正デモクラシー 第1次世界大戦とその後の世界 米騒動と社会運動 普通選挙法と治安維持法 侵略戦争への序幕	<ul style="list-style-type: none"> 日本が朝鮮半島や中国東北部に進出した背景を理解し、説明できる。 大正デモクラシーが起こった背景を理解し、現在の大衆運動と比較することができる。 第一次大戦における日本などの各国の動きの背景を帝国主義などの考えをもとに説明できる。 米騒動の起源が富山にあることを再認識し、民衆運動が起こった背景が分かる。 普通選挙法成立の背景と大正デモクラシーの限界を理解している。 協調外交が否定され、大陸侵攻へ向かう背景を説明できる。 		
後期	両大戦間の世界と日本	満州事変と「満州国」 日中戦争 第二次世界大戦と日本 戦時下の学問と文化 アジア太平洋戦争 戦争末期の国民生活 日本の敗戦	<ul style="list-style-type: none"> 日本の大陸進出を世界恐慌や軍部の台頭の側面から理解している。 日中戦争の拡大を地図などから理解し、日本の侵略行為について自分の考えを持っている。 第二次世界大戦についての原因、経過、日本の対応などについて説明できる。 戦時下の国民生活に注目し、戦争が国民の自由を制限することに気づく。 「大東亜共栄圏」に着目し、その文脈から太平洋戦争が起こった背景を理解している。 戦争が長びくにつれて国民生活にどのような変化が見られたか分かる。 日本はなぜ敗退したのかを多面的にとらえ、説明できる。 		
	戦後改革と高度経済成長	戦後世界と日本 日本国憲法と民主主義体制 経済復興と再軍備 サンフランシスコ平和条約 新日米安全保障条約 高度経済成長と公害 ベトナム戦争と沖縄 低成長への転換 経済大国と国民生活世界の 変動と国際関係	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ主導で行われた戦後初期の改革の背景とその経過が分かる。 日本国憲法をはじめとする諸制度の民主化の経過と背景が分かる。 戦後のアジア各国と日本、アメリカの動きについて、米ソ対立をふまえて理解している。 朝鮮戦争を契機として、経済復興と再軍備が始まったことを理解し、自衛隊についての自分の考えをまとめことができる。 日本の独立をめぐるどのような動きや思惑があったのかを理解している。 新安保成立の背景を理解し、新安保反対運動が盛り上がった背景について説明できる。 高度経済成長の良い面と悪い面が公正に判断できる。 ベトナム戦争と沖縄の日本復帰の関係を理解している。 経済大国に成長した日本は貿易によって密接に世界各国と関わり合うようになったことをオイルショックなどの事例から理解している。 変化する米ソ対立関係とそれにとまなう日本の動きについて理解している。 		
	現代の世界と日本	湾岸戦争後の世界と日本 バブル崩壊と政界再編 21世紀の日本社会 21世紀の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> 新たな局面を迎えた90年代の世界と日本の関係について理解している。 90年代の日本の様子を身近な事例にふれながら理解している。 日本人としてこれからの役割について自分なりの考えを持っている。 		
取得可能な検定や資格					
なし					

N	O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
3		地理歴史	地理 A	2	選択必修
開講年次	選択群	系列	使用教科書・教材		
1	日本史A 地理 A	なし	帝国書店 「高等学校 新地理A」 二宮書店 「詳解現代地図」		
学習の目標		現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元・項目		学習内容	到達度目標		
前期	地球儀や地図からとらえる現代社会	<ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置と国家 グローバル化が進む世界 	<ul style="list-style-type: none"> 球面上の世界の特色を理解し、地球儀や地図の活用方法を身に付けている。 世界の中の日本という視点でわが国を捉えることができる。 諸地域間の位置関係や距離関係が変化していること、貿易や国家間の結合が活発化していることを諸資料をもとに判断できる。 身近な地域における国際化の進展を諸資料から判断できる。 読図や資料作成の能力を身に付けている。 		
	人間生活を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> 生活に影響を与える環境条件とは 人々の生活と地形 人々の生活と気候 人々の生活と産業 人々の生活と文化 	<ul style="list-style-type: none"> 地球表面、新期造山帯、古期造山帯、安定陸塊、日本列島の地形の特色を諸資料から判断し、理解している。 日本の地形図の学習を通して地形図の読図の技能を身に付けている。 気候環境や気候区分の特色を理解し、諸資料をもとに気候区分を行うことができる。 工業分布と産業の発展に関する地域性を理解している。 世界の宗教・言語の特色と分布や民族と国家の関係を理解し、民族紛争について多面的に考え、自分の意見をまとめることができる。 		
後期	世界の諸地域の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> 中国の生活・文化 韓国の生活・文化 東南アジアの生活・文化 インドの生活・文化 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 サハラ以南のアフリカの生活と文化 ヨーロッパの生活・文化 ロシアの生活・文化 アメリカ合衆国の生活・文化 ラテンアメリカの生活・文化 オーストラリアの生活・文化 	<ul style="list-style-type: none"> 中国の多様な地形と気候、巨大な人口、地下資源や原料産地での工業立地と外資導入後の工業発展を理解し、日中の交流や中国文化の影響について考察できる。 日韓関係について、文化交流の進展、地形的には異なるが気候は似ていること、儒教の影響が強いこと、韓国の経済成長の特色を理解し、今後の日韓関係について考察できる。 東南アジアの自然・文化・産業について理解し、経済発展の背景について考察できる。 インドの自然、農業、工業、資源、宗教・言語、新しい工業の発達要因と人々の生活との関連について多角的に捉えている。 中央アジア・西アジア等の自然環境・社会環境と人々の生活との関連を理解し、民族紛争について自分なりの考えを持っている。 アフリカは植民地の影響が残っていることから、紛争が多発していることを理解し、アフリカが発展するための条件を考察できる。 ヨーロッパの統合の過程、自然環境の地域性、さまざまな言語と宗教、農業地域の特色と変容、工業地域とその変化や商業・サービス業の発達について理解し、産業の変容の要因や交流の進展の影響を考察できる。 ロシアと日本は環日本海として結びつきを強めていること、極東地域の経済の変化と日本との関連、日本と異なる寒冷地での生活の特色を理解している。 アングロアメリカの先住民や移民、多様な自然、大規模な農業、鉱工業の特色と地域性、生活と文化の特色を理解している ラテンアメリカが人種のるつぼであること、地下資源に恵まれていること、熱帯気候地域が広大であることを理解し、経済活動を活性化するための方策について考察できる。 オセアニアの範囲と区分、ニュージーランドの自然・産業の特色、オーストラリアの豊富な地下資源・乾燥地域での牧畜・多文化社会について理解している。 		
	地球的課題とわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> 複雑にからみ合う地球的課題 世界の環境問題 資源・エネルギー問題 世界の人口問題 世界の食料問題 世界の都市・居住問題 	<ul style="list-style-type: none"> 地球規模の様々な問題について、解決策を自分なりに考察できる。 酸性雨出現の要因や酸性雨が地球環境問題となっていること、熱帯林の開発と破壊が地域的に異なること、地球温暖化の要因と影響を理解、対策や国際協力について考察できる。 資源利用の拡大、資源ナショナリズム、生産と消費の地域性、資源の有限性、輸入に依存する日本の資源に関して理解し、考察できる。 世界人口における増加の地域差や要因、先進国の人口高齢化、インドの人口増加の要因と対策、日本の過密・過疎問題について理解し、考察できる。 飽食と飢え、食料供給の地域差、アフリカの食料問題の自然的要因と人為的要因、先進国における栄養の偏りや過剰生産について理解し、考察できる。 都市と村落の違い、発展途上国のスラム、先進国のインナーシティ問題やスプロール現象などを理解し、居住・都市問題の解決について考察できる。 		
取得可能な検定や資格					
なし					

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
4	数 学	数 学 I	3	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	な し	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数学 I 新訂版 (実教出版) ・ステップノート数学 I 新訂版 (実教出版) 	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・数と式、2次関数、三角比、集合と論証、データの分析について理解し、基礎的な知識を身に付ける。 ・数と式、2次関数、三角比、集合と論証、データの分析に関する問題を表現・処理する技能を身に付ける。 ・数と式、2次関数、三角比、集合と論証、データの分析に関して身に付けた知識や技能を的確に活用する能力を伸ばし、数学的な見方や考え方の良さを知ることができる。 		
単 元 ・ 項 目	学 習 内 容	到 達 度 目 標		
前 期	ウォームアップ 1章 数と式 1節 整式	①文字式のきまり ②整式 ③整式の加法・減法 ④整式の乗法 ⑤乗法公式による展開 ⑥因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・中学まで習ってきた計算規則や方程式の解き方を確認し、正しく計算できるようにする。 ・文字式の計算規則を確認し、整式、次数、係数、定数項などの意味を知る。整式の加減乗や指数の計算方法を知り、公式を利用して2次式や3次式の展開や因数分解ができる。 	
	2節 実数 3節 方程式と不等式	①平方根とその計算 ②実数 ①1次方程式 ②不等式 ③不等式の性質 ④1次不等式 ⑤連立不等式 ⑥不等式の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・根号で表される数どうしの加減乗の計算や分母の有理化ができる。 ・数の体系について理解を深める。 ・方程式、不等式、解などの意味を知り、解いたり、数直線に表したりすることができる。 ・連立不等式や不等式の応用問題を解くことができる。 	
後 期	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 2節 2次関数の値の変化	①1次関数とそのグラフ ②2次関数とそのグラフ ①2次関数の最大値・最小値 ②2次関数のグラフと2次方程式 ③2次関数のグラフと2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・1次関数や2次関数とそれらのグラフの形が分かり、グラフの平行移動ができる。また、平方完成を利用して、グラフをかくことができる。 ・グラフを利用して2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係について理解できる。 ・2次関数のグラフと2次不等式の解の関係について理解できる。 	
	3章 三角比 1節 三角比 2節 三角比の応用 <課題学習> 富山から富士山は見えるか	①三角形 ②三角比 ③三角比の利用 ④三角比の相互関係 ①三角比の拡張 ②三角形の面積 ③正弦定理 ④余弦定理 ⑤正弦定理と余弦定理の利用 三角比を用いて距離を求める	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の相似や三平方の定理を利用し、辺の長さを求めることができる。 ・正接、正弦、余弦を知り、三角比を求める、三角定規の三角比が分かる、相互関係を知るなどができる。 ・鋭角と比較しながら、鈍角の三角比を求めることができる。 ・三角形の面積の公式、正弦定理、余弦定理を知り、面積、辺の長さ、角度などを求める問題を解くことができる。 ・富士山から富山までの距離と地球の中心を用いて直角三角形を見つけることができる。 ・グループで話し合い、三角比を用いて推測することができる。 	
期	4章 集合と論証 1節 集合 2節 命題と証明	①集合と要素 ①命題 ②いろいろな証明法	<ul style="list-style-type: none"> ・集合や集合に関する用語の意味を理解し、要素を書き並べて表すことができる。 ・命題の真偽を考察できる。また、命題の逆、裏、対偶等を表現し、対偶や背理法による証明ができる。 	
	5章 データの分析 1節 データの整理 2節 データの分析 3節 コンピュータによる統計処理	①統計とグラフ ②データの整理 ①代表値 ②データの散らばり ③相関関係 ①表計算ソフトウェアによる統計処理 ②グラフの表示	<ul style="list-style-type: none"> ・棒、折れ線、円、帯グラフ等を使い分ける目的を知り、データから読み取れることを考察できる。 ・様々な代表値を用いてデータを考察できることを知り、相関係数を使って相関関係を述べるなどができる。 ・エクセルを使って、データの分析をすることができる。また、入力したデータをグラフで表示できる。 	
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> ・実用数学技能検定 <p>※準2級を取得すると1単位の増加単位として認定される (数学 I を修得した場合に限る)</p>				

N	O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
5		理 科	科学と人間生活	2	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材		
1	な し	な し	<ul style="list-style-type: none"> ・科学と人間生活 新訂版（実教出版） ・科学と人間生活 演習ノート（実教出版） 		
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則を理解する。 ・自然の事物・事象についての観察や実験などを行い、自然への関心や探究心を高める。 ・現在及び将来における課題の課題と身近な人間生活との関わりについて考察し、環境問題などへの理解を深める。 			
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標		
前 期	科学と技術の 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・科学と技術の始まり ・生物学と医療 ・化学の魅力 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が 科学とどのように関わり合ってきたか理解できる。 		
	光や熱の科学 1 光の性質とその 利用	<ul style="list-style-type: none"> ・光の直進性と反射 ・光の屈折 ・光のスペクトル ・光の回折と干渉 ・電磁波で見る 	<ul style="list-style-type: none"> ・光が波であることを、回折や干渉など波の性質を持つことから理解し、身の回りの現象として理解できる。 		
	2 熱の性質とその 利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの温度 ・熱平衡 ・仕事とエネルギー ・エネルギー変換と保存 ・エネルギーの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーが変換することと、保存することを理解できる。また、その性質を利用して科学技術が発展したことを理解できる。 		
	物質の科学 1 材料とその再利 用	<ul style="list-style-type: none"> ・物質のなりたち ・セラミックス ・金属の特性 ・プラスチック 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのセラミックス・金属・プラスチックについてその製造法や資源の再利用について理解することができる。 		
	2 食品と衣料	<ul style="list-style-type: none"> ・食品 ・糖類 ・アミノ酸とタンパク質 ・合成繊維 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品中の成分や衣料材料についてそれぞれの性質を把握し理解できる。 		
後 期	生命の科学 1 生物と光	<ul style="list-style-type: none"> ・光合成 ・光の強さと光合成速度 ・植物の生育と光 ・動物の行動と光 ・眼の構造と働き 	<ul style="list-style-type: none"> ・光合成、光屈性、花芽形成など、植物と光の関係について得た知識を、人間生活と関連づけて理解できる。 		
	2 微生物とその利 用	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の発見 ・発酵と腐敗 ・微生物の利用 ・微生物と医薬品 ・微生物と水の浄化 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な微生物の存在や働き、生態系での役割について得た知識を、人間生活と関連づけて理解できる。 		
期	宇宙や地球の科学 1 身近な天体と太 陽系における地 球	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙から地球を眺める ・時間と暦 ・惑星地球の発見 ・太陽系の構成 ・水の惑星地球 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球を含む太陽系の天体の広がりや構造を知り、惑星や地球の特質を理解できる。 		
	2 身近な自然景観 と自然災害	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観のでき方 ・日本の自然の特徴 ・地震・火山のメカニズム ・気象災害と防災 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観の成因や日本列島の成り立ちとその変化について理解し、自然景観の恩恵と自然災害のリスクの関わりを理解できる。 		
	これからの科学と 人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの科学・技術と人間 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や科学技術に関連した事例から、課題を発見し考察できる。 		
取得可能な検定や資格					
なし					

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
6	保健体育	体 育	3 / 7 (1～3年次まで継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	な し	現代高等保健体育改訂版（大修館）	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の合理的実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる。 ・運動の必要性を理解し、生涯を通して自己の能力に応じて継続的に運動ができる資質や能力を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目	
前 期	体づくり運動	体ほぐしの運動・補強運動	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体への関心と体づくりへの取り組みができる。 	
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化とスポーツ ・運動技能の構造と運動の学び方 ・体ほぐしの意義と体力の高め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性、効果的な練習法を理解し、知識が身に付いている。 	
	陸上競技 ・長距離走 ・短距離走	3, 000m走 <ul style="list-style-type: none"> ・ペース走・インターバル ・レペティション・トライアル 50m・100m走 <ul style="list-style-type: none"> ・走の基本技術・スタート練習 ・中間走・トライアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践を通して陸上競技の楽しさにふれている。 ・自己の技術的・体力的課題を知り、その解決を図りながら記録の向上を目指している。 	
	球技 (男子) ・サッカー	基本技術・キック・ヘディング <ul style="list-style-type: none"> ・ドリブル・トラッピング ・スローイング 応用技術・パスキープ（3対1） 簡易ゲーム（ハーフコート）	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・サッカーの特性と戦術を理解し、ゲームの攻防を楽しむことができる。 	
(女子) ・バレーボール (ビーチボール)	基本技術・パス・サーブ <ul style="list-style-type: none"> ・サーブレシーブ ・フオーメーション 簡易ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・チーム全員で協力し、楽しくパスゲームができる。 		
後 期	球技 (男子) ・ソフトボール (女子) ・ソフトボール (ティーボール)	基本技術 <ul style="list-style-type: none"> ・打つ（構え方、スイング、スタンス、バント） ・捕える（スローイング、キャッチング、捕球から送球） ・投げる（スタンダード、スリリングショット） ・走る（ベースランニング、スライディング） 簡易ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握している。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームができる。 	
	球技 ・バスケットボール	基本技術・パス・ドリブル <ul style="list-style-type: none"> ・シュート・ピボット 応用技術・2対1・3対2 簡易ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・バスケットボールの特性と戦術を理解し、ゲームの攻防を楽しむことができる。 	
	ダンス	エアロビクスダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて楽しく体を動かすことができる。 	
期	選択球技 ・バドミントン ・卓球	基本技術・ラケットの握り方と操作 （バドミントン）・ドライブ・ハイクリア・カット <ul style="list-style-type: none"> ・サーブ・ヘアピン・スマッシュ・プッシュ （卓球）・フォアハンド・バックハンド・カット <ul style="list-style-type: none"> ・ドライブ・スマッシュ 簡易ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン、卓球の特徴を理解し、正しくシャトル・ボールを打つことができる。 ・簡易ゲームでラリーを楽しむことができる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
7	保健体育	保 健	1 / 2 1～2年次まで継続履修	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	な し	現代高等保健体育改訂版（大修館）	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・個人や集団の生活における健康・安全についての基礎的な知識を身に付ける。 ・健康問題を認識し、これを科学的に考察し、正しく判断し、適切に対処できる能力を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	○現代社会と健康 ・健康の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・さまざまな保健活動や対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康については、さまざまな考え方があることを理解している。 ・健康水準向上の背景を理解し、これからの健康問題について興味関心を持っている。 ・ヘルスプロモーションの考え方を知り、それを支えている各種の保健活動を理解している。 	
	・健康の保持増進と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病と日常の生活行動 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・医薬品と健康 ・感染症とその予防 ・エイズとその予防 ・健康にかかわる意思決定・行動選択 ・意思決定・行動選択に必要なもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の因果関係（食事・運動・喫煙・飲酒との関連）を知り、その予防方法を実践することができる。 ・薬物乱用は、心身の健康などに深刻な影響をあたえることを理解している。 ・感染症をとりまく状況の変化を知り、その予防方法を実践することができる。 	
後 期	・精神の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・欲求と適応機制 ・心身相関とストレス ・ストレスへの対処 ・自己実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の欲求と適応機制、精神と身体の間連について理解している。 ・欲求やストレスに対する適切な対処方法を知り、自己実現を図ることが重要であることを理解している。 	
	・交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転者には、資質と責任が求められることを理解している。 	
	・応急手当	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法（実習） ・日常的な応急手当 	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法などの正しい応急手当ができる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
8	芸 術	音 楽 I	2	選択必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	音 楽 I 美 術 I 書 道 I	な し	改定版ON! 1 (友社)	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の幅広い学習を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞に必要な基本的技能を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	歌唱 ～身近な音楽～	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌 ・翼をください ・花は咲く ・ふるさと ・この道 	<ul style="list-style-type: none"> ・声を合わせて歌うことの楽しさを味わうことができる。 ・歌詞の内容を理解し、表現を工夫して歌うことができる。 ・曲種に応じた歌い方を工夫することができる。 ・楽譜を理解して歌うことができる。 	
	～原語唱に挑戦～	<ul style="list-style-type: none"> ・Daydream ・Believer ・Caromio ben ・Heidenroslein 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語、イタリア語、ドイツ語に触れ、原語での歌唱の良さを味わうことができる。 	
	器楽	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー 	<ul style="list-style-type: none"> ・管楽器の基本的な奏法（ブレスコントロール、フィンガリング、タンギング）を理解し、奏法を意識して演奏することができる。 ・楽譜を理解して演奏することができる。 	
	楽典	<ul style="list-style-type: none"> ・音符・休符の長さ ・音楽用語 	<ul style="list-style-type: none"> ・音符・休符の長さや基本的な音楽用語や意味を理解して、読譜や記譜ができる。 	
後 期	西洋の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ベートーヴェン 交響曲第9番「合唱付き」より「An die Freude」 	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋音楽に親しむと共に作曲家や作品の時代背景について関心を持つことができる。 ・歌詞の意味や曲想について理解し、表現を工夫して歌うことができる。 	
	日本の伝統音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・こきりこ ・谷茶前 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の民謡への理解を深め、それにふさわしい歌い方や間の取り方、楽器の演奏を工夫することができる。 	
	ミュージカルの世界	<ul style="list-style-type: none"> ・「サウンド・オブ・ミュージック」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルの鑑賞を通して、その特徴を理解し、さまざまな分野の芸術に理解を深める。 ・物語の情景や歌詞の内容にふさわしい歌唱表現を工夫することができる。 	
	創作	メロディをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に高低やリズムをつけてメロディをつくることできる。 	
	器楽アンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドベル ・ギター 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な楽器の特性を理解し、表現を工夫することができる。 ・各パートの響きを感じ取りながら、合わせて演奏することができる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
9	芸 術	美 術 I	2	選択必修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	音 楽 I 美 術 I 書 道 I	な し	高校生の美術1（日本文教出版）	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・美術の幅広い学習を通して、美術体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 ・鑑賞を通じて美術作品の見方・考え方を学び、生涯を通じて美術に親しむ心情を養う。 ・自分の考えや感動を工夫して表現するための基礎的な表現力を高める。 ・創作を通じて、「自分らしさ」を根気よく追求する姿勢を養うとともに、お互いの個性の違いを理解し、認め合う心情を養う。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	人物を描く 「よく見て描こう」（絵画）	顔の部分で表現しよう <ul style="list-style-type: none"> ・顔の部分の特徴を理解する ・鉛筆画の基礎 ・濃淡や構図の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の線質を理解し、濃淡を工夫して表現できる。 ・構図を工夫することによってよりよく主題を伝えることができる。 ・よく見て描くことの大切さを実感し、観察力を養う。 ・形の特徴や造形的な美しさを個性的に捉え、かつ自己の心を深く見つめ、そこから受ける感情や、美しさなどを表現することができる。 	
	商業デザイン 「キャラクターデザイン」	小矢部園芸高校のマスコットキャラクターのデザイン <ul style="list-style-type: none"> ・V I 計画の理解 ・フィギュア制作工程 	<ul style="list-style-type: none"> ・V I 計画を理解し、実用性のあるキャラクターをデザインできる。 ・キャラクターをイメージ通りに立体化して造形することができる。 ・道具や補助材を創造的に活用し、丁寧で確実な作業ができる。 	
後 期	映像メディア表現 「パラパラアニメ」	動画 <ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションの基礎 ・サブカルチャーの理解 ・動画の原理 	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションの特質を生かし、ストーリー、キャラクターデザイン、構図、動き等を創意工夫して効果的に表現できる。 	
	プロダクトデザイン 「切り絵コースター」	生活に生かす作品の制作 <ul style="list-style-type: none"> ・単純化した表現の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で使用する場面や美しさ・楽しさを思考し、デザインできる。 ・切り絵の特質を理解したデザインや加工ができる。 	
	作品鑑賞	屏風作品を鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> ・意味生成的な鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞から受ける互いの思考の相違に気づき、個々の言語表現から多様性を感じることで、個性を認め合い、思考を広め深めることができる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
10	芸 術	書 道 I	2	選択必修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	音楽 I 美術 I 書道 I	な し	書 I (光村出版)	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での書写を基本に、文字を素材とした芸術としての書道を学び、古典に基づく表現力・鑑賞力を身に付ける。 ・「漢字仮名交じりの書」「漢字の書」「仮名の書」、篆刻・実用書(硬筆)における表現力を偏りなく身に付ける。 ・書道の幅広い活動を通して生涯にわたり書を愛好する心情を育て、感性を高め、書の伝統と文化について理解を深める。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	書写から書道へ	・文房四宝や漢字の書体の成立と変遷について学ぶ。	・用具・用材を丁寧に扱うことができる。	
	漢字の書 ・楷書 ・行書 ・創作	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書を通して様々な用筆、運筆、字形のとり方を理解し、書く。 ・古典の臨書を通して様々な用筆、運筆、字形のとり方を理解し、書く。 ・創作手順に従い古典の特徴・技法を生かして書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字文化の歴史を理解し鑑賞することができる。 ・用筆、運筆、結構法が身に付いている。 ・用筆、運筆、結構法が身に付いている。 ・創作することに喜びを感じ、より一層創意工夫しようとしている 	
前 期	落款と篆刻	・用具用材について理解し篆刻の方法を学ぶ。	・用具用材の扱い方と運刀の基礎が身に付いている。	
	仮名の書 ・平仮名の単体 ・連綿 ・変体仮名 ・全体構成 ・創作	<ul style="list-style-type: none"> ・用筆、運筆、字形のとり方を理解し、書く。 ・リズムカルな運筆を学ぶ。 ・読むことに慣れ正しく書く。 ・古筆の臨書を通して流動美、紙面構成を学び表現を深める。 ・自ら選んだ詩を創作する 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名・片仮名の成立を理解している。 ・基本的な用筆、運筆、結構が身に付いている ・基本的な用筆、運筆が身に付いている。 ・正しく書くことができる。 ・古典を通して仮名の線の特質や構成の美しさを理解し、鑑賞することができる。 ・創作に主体的に取り組む姿勢を身に付けている。 	
後 期	硬 筆 漢字仮名交じりの書 ・漢字と仮名の調和 ・用具用材による表現の変化 ・創作	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆書写検定の演習 ・学習した楷書と行書の古典を基に漢字と平仮名、片仮名の調和を試みる。 ・自分の表現意図に合った効果的方法で書く。 ・創作手順に従い自分が選んだ詩を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4級の力が身に付いている。 ・線質の調和による表現の手法を身に付けている。 ・用具用材の種類や扱い方により表現が変化することを理解している。 ・文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えて表現することを身に付けている。 	
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆書写検定2級・毛筆書写検定2級を取得すると2単位の増加単位として認定される。(書道Iを修得した場合に限る) 				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
1 1	外 国 語	コミュニケーション 英語 I	2 / 4 (2年次まで継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	な し	VISTA English Communication New Edition I (三省堂)	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを読み、書けるようになる。 ・辞書の引き方を身につけ、語句の意味を自発的に調べられるようになる。 ・英語の正しい発音ができるようになる。 ・読んだり、聞いたりした事について、自分の考えを話したり、また書いたりして相手に伝える能力を身につける。 ・基本的な文法についての知識を身につける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	Get Ready!1~3	○アルファベットを書く ○辞書の使い方 いろいろな語句を調べる ○英語での指示の理解 ○英文法の基礎を知る ○動詞を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大文字、小文字が読み、正しく書くことができる。 ・名前をローマ字で書くことができる。 ・語句を辞書を使って調べることができる。 ・調べた語句の発音ができるようになる。 ・授業中の英語での指示を理解できるようになる。 ・主語・動詞・形容詞・副詞・前置詞・冠詞・目的語とはどのようなものかを理解できる。 	
	Kerama Blue	○慶良間ブルーとはどのようなものかを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・海中での珊瑚礁と珊瑚の役割について知る。 ・be-動詞、一般動詞を使った文の形を理解し作れるようになる。 ・海外からみた日本について知る。 	
	Cool Japan	○CoolJapanとは何か?を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問文 (be 動詞、一般動詞、疑問詞を使う) を理解できるようになり、これらを用い言語で表現できる。 ・現在・過去進行形について理解でき、これらを用い言語で表現できる。 	
	Mexican Dishes	○英文の構成を理解する ○疑問文の作り方を理解する ○現在・過去進行形について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・can may の使い方を理解し、(肯定文・疑問文・否定文) を作ることができる。 ・助動詞を使い、自分の意思を表現することができる。 ・助動詞の復習 ・動詞の過去形を理解でき、これを使い時制を的確に表現できる。 ・古代ギリシャから現代までのオリンピックの変化を知る。 ・英文を第1~5文型のどの型に属するのかを、正しく見極め分類する事ができる。 	
後 期	Mexican Dishes	○可能性や未来を表す助動詞を理解する ○世界無形文化遺産のメキシコ料理について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・can may の使い方を理解し、(肯定文・疑問文・否定文) を作ることができる。 ・助動詞を使い、自分の意思を表現することができる。 ・助動詞の復習 ・動詞の過去形を理解でき、これを使い時制を的確に表現できる。 ・古代ギリシャから現代までのオリンピックの変化を知る。 ・英文を第1~5文型のどの型に属するのかを、正しく見極め分類する事ができる。 	
	The Olympics	○オリンピックの歴史を学ぶ ○S V O, S V O O の文型を含む5文型を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・マダガスカルに生えるバオバブの木の減少と人間の関わりを知る。 ・不定詞の種類と使い方を理解し、これを使用し、自分の意思を言語で表現することができる。 	
Baobabs in Madagascar	○バオバブの木を通して地球の環境問題について考える。 ○不定詞について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・マダガスカルに生えるバオバブの木の減少と人間の関わりを知る。 ・不定詞の種類と使い方を理解し、これを使用し、自分の意思を言語で表現することができる。 		
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定 ※3級を取得すると1単位、準2級を取得すると2単位の増加単位として認定される(コミュニケーション英語Iを修得した場合に限る。より高い級を取得した場合、認定単位数の差を増加単位として認定する。) 				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
1 2	家 庭	家庭総合	2 / 4 (2年次まで継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	な し	教科書 新家庭総合パートナーシップでつくる未来 (実教出版) 副教材 2018生活学Navi 資料+成分表 (実教出版)	
学 習 の 目 標		人の一人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	生活をつくる 「食生活をつくる」	<ul style="list-style-type: none"> 人と食物のかかわり 私たちの食生活 栄養と食品のかかわり 食事の計画と調理 食品の選び方と安全 家庭科技術検定 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の食文化の形成と特徴についてわかる。 各ライフステージの食生活の特徴を理解し、生涯を見通した食生活の管理運営ができるようになる。 栄養・食品・調理・衛生について科学的に理解できる。 食生活に関心をもち、調理実習を通して食生活の自立に必要な知識と技術を習得している。 食生活にかかわる情報を適切に判断し、環境に配慮した食生活を主体的に営むことができる。 基礎的知識・技術を身に付け食物調理4級を取得する。 	
	実践活動 「ホームプロジェクト」	<ul style="list-style-type: none"> ホームプロジェクト 発表と評価 	<ul style="list-style-type: none"> 生活に関心をもち、生活課題を見つけ解決できる。 実践内容をレポートや発表をとおして説明できる。 	
後 期	生活をつくる 「食生活をつくる」	<ul style="list-style-type: none"> 食事の計画と調理 ライスクッキングコンテスト 	<ul style="list-style-type: none"> バランスのとれた弁当の献立をたてることができる。 弁当を手際よく調理し、彩りよく詰めることができる。 	
	人とかかわって生きる 「自分らしい生き方と家族」	<ul style="list-style-type: none"> 自立した生き方、共に生きる人生 共に生きる家族 家族に関する法律 私たちの生活を支える労働と生活時間 	<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージの特徴と課題を理解し、自分らしく生きることと共に生きることについて考えている。 家族の機能と家族関係、家族と法律、家庭生活と福祉などについて理解している。 仕事と生活の調和や、家族の一員として役割を果たし、男女が協力して家庭生活を営む重要性についてわかる。 	
	「高齢者とかかわる」	<ul style="list-style-type: none"> 高齢社会に生きる私たちの暮らし 高齢者を知る 高齢者の自立のためにできること 介助体験 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢社会の状況及び福祉などについて理解している。 高齢者の心身の特徴や高齢者の生活の課題や家族、地域及び社会の果たす役割について認識している。 高齢者の自立生活を支えるための支援の方法や高齢者とかかわることの重要性を理解している。 介助体験を通して、介護で大切なことが何かがわかる。 	
	「社会とかかわる」	<ul style="list-style-type: none"> 支えあう暮らしとは 	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障制度のしくみと理念を理解している。 	
	消費者として自立する 「消費行動を考える」 「経済的に自立する」	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化と消費生活 消費者の権利と責任 経済のしくみを知る 生活設計 	<ul style="list-style-type: none"> 流通や販売方法が複雑化・多様化する中で、財・サービスを購入する際に、生活情報を適切に判断し活用できる。 消費者問題や消費者の権利と果たす役割がわかる。 生涯を見通した家計管理の在り方や不測の事態に備えた経済上のリスク管理について考えることができる。 	
取得可能な検定や資格				
文部科学省後援 全国高等学校家庭科 食物調理技術検定 4級				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
13	農 業	農業と環境	4	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	な し	農業と環境 (実教出版)	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探求的な学習を通して、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ・農業及び環境への興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を伸ばし、農業の各分野で活用する能力と態度を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	1 トウモロコシの栽培 ・栽培計画 ・たねまき ・たねまき後の管理 ・収穫 ・プロジェクト学習	<ul style="list-style-type: none"> ・トウモロコシの一生 ・品種とその選択 ・たねまきの準備 ・たねまきの適期 ・幼苗の生育 ・耕起整地の方法 ・畑の準備 ・追肥、中耕、土寄せ ・病害虫防除 ・開花、結実 ・収穫 ・トウモロコシの生育や収穫について記録や測定を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・トウモロコシの一生と主な管理について把握している。 ・良い種子の条件について理解している。 ・たねまきの目的と準備手順ができる。 ・葉、根の生長を観察することができる。 ・うねの作り方と施肥について理解している。 ・植え付け方法を理解している。 ・追肥の役割と時期について理解している。 ・中耕・土寄せの効果について理解することができる。 ・病害虫の種類と鳥害防除法について理解できる。 ・受粉受精のしくみについて理解している。 ・試食により栽培方法を振り返ることができる。 ・栽培の記録ができる。 ・生育調査ができる。 ・収量調査ができる。 ・農業高校の学習の中で農業クラブが果たす役割を理解している。 	
	2 学校農業クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・学校農業クラブの目標 ・組織と活動 		
後 期	3 ダイコンの栽培 ・たねまき ・育苗(栽培)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイコンの一生 ・たねまき ・畑準備と定植 ・栽培管理 ・根部の発育 ・収穫 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイコンの一生と主な管理作業について理解している。 ・たねまきの方法とたねまきの時期について考えることができる。 ・種子と発芽について理解することができる。 ・肥料の与え方、中耕、除草を確実に実施できる。 ・マルチの役割を知り、適切に実施できる。 ・初期生育と管理について把握している。 ・根の肥大のしくみについて理解している。 ・ダイコンに寄生する病害虫と生理障害について理解している。 ・生育調査ができる。 	
	・プロジェクト学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイコン栽培の記録生育測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を表やグラフにできる。 ・調査結果からわかることを発表できる。 	
	4 プロジェクト学習のまとめ 5 日本の農業	<ul style="list-style-type: none"> ・トウモロコシやダイコンの生育調査結果をまとめる ・日本の農業と環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業と自然の関わりを理解できる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
14 (1)	農 業	総合実習	3 / 9 (3年次までの継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	4分野ローテーション(野菜)	総合実習テキスト	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基礎・基本を農場実習を通して学び、知識と技術を身に付ける。 ・2、3年次の系列選択に向けて、それぞれの系列(草花、野菜、造園)に関する知識と技術を身に付ける。 ・野菜の特性や栽培に適した環境について学習し、良質で多くの収量を上げることが出来るようにする。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	・春野菜の育苗	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗 ・栽培用具 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナス、トマトなどの春野菜の育苗の目的を理解し、除草やかん水などの管理をすることができる。 ・鉢上げ鉢替えを確実に言い、その必要性を把握している。 ・硬化について理解している。 ・栽培用具について知り、安全に正しく扱うことができる。 	
	・果菜類の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・生育の特性と管理 ・収穫と調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・半促成キュウリなど果菜類の生育特性を理解し、生育に応じた栽培管理ができる。 ・果菜類の収穫時期を判断し、販売のための調整ができる。 	
	・葉菜類の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・生育の特性と管理 ・本畑管理 ・植え付け後の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャベツなど葉菜類の特性を理解し、たねまきや育苗管理ができる。 ・定植時期や方法を理解し、正しく定植することができる。 ・生育状況を観察し、それに応じた栽培管理ができる。 ・追肥や除草、薬剤散布等を適時に正確にできる。 	
	・秋野菜の育苗 ○特別実習 当番実習	<ul style="list-style-type: none"> ・品種の選定と生育特性 ・種まき ・育苗管理と定植 ・病虫害防除 	<ul style="list-style-type: none"> ・作型や目的に応じた品種の選び方、生育特性を把握している。 ・秋野菜の種まきの準備や種まきができる。 ・育苗管理及び定植ができる。 ・病虫害の防除の方法を理解することができる。 	
後 期	秋野菜の栽培 ・葉菜類 ・根菜類	<ul style="list-style-type: none"> ・本畑管理 ・肥料 ・収穫、調整、販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハクサイ、ダイコンなどの秋野菜の定植後の管理としての中耕、追肥、除草、病虫害防除など、それぞれの目的と方法を理解し、実施できる。 ・肥料の種類や土の特性を理解し、野菜の種類や生育に応じて元肥・追肥などの施肥ができる。 ・農産物即売会を体験し、販売や出荷方法を理解している。 	
	春野菜の育苗 ・果菜類 ○特別実習 当番実習	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗 ・被覆資材 ・つぎ木 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい苗の条件を学習し、苗の良否が生育や収量を大きく左右することを理解している。 ・春野菜の種まきと育苗管理ができる。 ・育苗に利用する被覆資材の種類と特徴を理解している。 ・ナスなどのつぎ木の目的や特徴を理解している。 ・つぎ木の方法を理解し、つぎ木やつぎ木後の管理ができる。 	
取得可能な検定や資格				
・日本農業技術検定 3級				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
14 (2)	農 業	総合実習	3/9 (3年次までの継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	4分野ローテーション(草花)	総合実習テキスト	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基礎・基本を農場実習を通して学び、知識と技術を身に付ける。 ・2、3年次の系列選択に向け、各系列(草花、野菜、造園)に関する知識と技能を身に付ける。 ・農場での総合的な実習を通じて、作業の順序、組合せとその管理および技術の実践的な役割を体験的に理解し、草花の生育環境、生産、出荷などに関する実際的な技術を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	花壇用草花の生産と管理	春から夏における草花管理 <ul style="list-style-type: none"> ・施肥 ・苗の移動 ・出荷準備 ・さし木 (管理する草花) サルビア、ケイトウ、マリーゴールド、ペゴニア、ペチュニア、インパチェンス、ポーチュラカ、観賞用トウガラシ、シクラメン、ガザニア、カラコエ、クンシラン、キク	<ul style="list-style-type: none"> ・種子の性質や大きさに合わせたは種、管理ができる。 ・時期に合わせ、適期にさし木、鉢上げ、かん水、施肥等の管理ができる。 ・除草、摘芯、わい化处理等の意義を理解し、適切に作業できる。 ・病害虫の特徴を理解し、安全に防除できる。 ・生産品を客観的に評価し、付加価値を高めることを考えて出荷準備ができる。 	
	○特別実習 当番実習			
後 期	鉢花の生産と管理	秋から冬における草花管理 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培用土作り 土詰め は種 ・販売準備 ・出荷準備 (管理する草花) シネラリア、パンジー、サルビア、プリムラ、ガザニア、シロタエギク、シクラメン、ペゴニア、ポインセチア、ハボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・種子の性質や大きさに合わせたは種、管理ができる。 ・時期に合わせ、適期に鉢上げ、かん水、施肥等の管理ができる。 ・除草、摘芯、わい化处理、などの意義を理解し、適切に作業できる。 ・病害虫の特徴を理解し、安全に防除できる。 ・生産品を客観的に評価し、付加価値を高めることを考えて出荷準備ができる。 	
	○特別実習 当番実習			
取得可能な検定や資格				
・日本農業技術検定 3級				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
14 (3)	農 業	総合実習	3 / 9 (3年次までの継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	4分野ローテーション(造園)	総合実習テキスト	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基礎・基本を農場実習を通して学び、知識と技術を身に付ける。 ・2、3年次の系列選択に向けて、それぞれの系列(草花、野菜、造園)に関する知識と技術を身に付ける。 ・庭木の特性や栽培に適した環境について学習し、経営と管理についての実践的な能力と態度を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	マンリョウの栽培	・マンリョウの播種	・実生繁殖方法を理解し、正しい播種ができる。	
	タマリユウの栽培	・タマリユウの株分け	・タマリユウの繁殖方法を理解し、正しい株分けができる。	
	ハウス内の環境整備		・ハウス内の除草をすることができる。	
	ツバキの栽培	・さし木	・ツバキのさし木繁殖の方法、手順を理解し、正しいさし木ができる。	
	薬剤散布 ○特別実習 当番実習	・薬剤散布の目的と方法	・病虫害防除方法を理解し、目的に応じて薬剤散布ができる。	
	鉢物・盆栽の管理	・追肥と除草	・鉢物・盆栽の追肥と除草を正確に行うことができる。	
後 期	環境整備		・雑草が病虫害の温床になることを理解することができる。	
	庭木の販売	・根巻き	<ul style="list-style-type: none"> ・根巻きの目的と方法を理解し、実践することができる ・農産物即売会を体験し、販売や出荷について学ぶ。 	
	庭木の雪囲い	<ul style="list-style-type: none"> ・なわの結び方 ・雪囲い ・雪吊り 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的ななわの結び方が理解でき、正しく結ぶことができる。 ・庭木の正しい雪囲いができる。 ・マツなどの雪吊りができる。 	
	庭木の根回し ○特別実習 当番実習	<ul style="list-style-type: none"> ・根回し準備 ・溝掘り ・うめ戻し 	・庭木の正しい根回しができる。	
取得可能な検定や資格				
・日本農業技術検定 3級				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
14 (4)	農 業	総 合 実 習	3 / 9 (3年次までの継続 履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	4分野ローテーション (作物)	総合実習テキスト	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の基礎・基本を農場実習を通して学び、総合的な知識と技術を身に付ける。 ・ 水稻の特性や栽培に適した環境について学習し、経営と管理についての実践的な能力と態度を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	水稻の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育苗管理 ・ 水田準備 ・ 田植え ・ 溝掘り ・ 病虫害防除 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 播種ができる。 ・ 育苗期を出芽・緑化・硬化に分け、それぞれの生育期間に適する環境を理解し、健康な苗の育成ができる。 ・ 植え付けに適した圃場条件を理解し、整地することができる。 ・ 初期除草剤散布について、除草剤を正しくより有効に使用することができる。 ・ 稚苗の植え付け適期を理解し、活着の良い天候条件を選び田植えをすることができる。 ・ 補植として、手植えが正しくできる。 ・ 水田における水管理の重要性を知り、手溝掘りができる。 ・ イネの病気の症状、害虫の種類を知り、適切な農薬を選び、安全で効果的に薬剤散布ができる。 	
	○特別実習・ 当番実習			
後 期	水稻の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収穫 ・ 乾燥調整 ・ 秋起こし ・ 育苗準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収穫適期を知り、収穫作業を正しく行うことができる。 ・ もみの乾燥が品質の高い米に仕上げる過程であることを理解することができる。 ・ もみすり機の働きと主要部の構造について理解できる。 ・ 収穫後の水田整備の必要性を体得できる。 ・ 育苗器材の洗浄及び消毒を徹底し、育苗環境を清潔に保つことができる。 ・ 床土の条件を理解し、強健な苗が生育する床土を作ることができる。 ・ 均一な種まきができるように、正しい床土入れができる。 ・ 育苗期の環境条件を理解し、均一で強健な苗を育成でき、また風等に耐えるビニールハウスを作ることができる。 	
	○特別実習 当番実習			
取得可能な検定や資格				
・ 日本農業技術検定 3級				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
15	農 業	農業情報処理	2	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	な し	な し	農業情報処理 (実教出版) 農業クラブ農業技術検定問題集改訂版 (富山県学校農業クラブ連盟) 平成29年度全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集3・4級 (実教出版)	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解し、情報に関する知識技術を習得する。 ・農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を身に付ける。 ・農業技術検定中級合格に必要な知識と技術を習得する。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	生活と農業の情報化	情報化社会のモラルとセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルや情報セキュリティについて認識を深め、その重要性を理解している。 	
	情報の基礎	コンピュータのしくみと利用 情報ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・補助記憶装置や入力装置、出力装置などの用途についての知識を身に付けている。 ・情報通信ネットワークに関心をもち、それらの操作方法の習得に意欲的に取り組む態度を身に付けている。 	
前 期	コンピュータによる情報の活用	情報のセキュリティ管理 日本語ワードプロセッサの利用 農業技術検定の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のセキュリティ管理について基礎的な知識を身に付けている。 ・ワープロソフトの基本操作を習得し、特徴や機能に関する知識を身に付けている。 ・キーボード操作に慣れ、習熟している。 ・文書の構成や構成要素の配置について理解している。 ・実際に文書を作成できる。 ・10分で200字以上の文字を打つことができる。 ・15分で200字程度の案内文を作成することができる。 	
	後 期	農業情報及び森林・環境情報の活用	速度文上級の練習 通信文上級の練習 表計算ソフトの利用 プレゼンテーションソフトの利用 農業の各分野での情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・10分で300字以上の文字を打つことができる。 ・20分で250字程度の案内文を作成することができる。 ・表計算ソフトの基本操作を習得し、特徴や機能に関する知識を身に付けている。 ・プレゼンテーションソフトの基本操作を習得し、特徴や機能に関する知識を身に付けている。 ・農業の各分野での情報システムの活用例について理解している。
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> ・富山県学校農業クラブ農業技術検定 (ワープロ中級・上級) ・日本情報処理検定協会日本語ワープロ検定試験 ※1級を取得すると3単位、準1級を取得すると2単位、2級・準2級を取得すると1単位の増加単位として認定される (農業情報処理を修得した場合に限る。より高い級を取得した場合、認定単位数の差を増加単位として認定する。)				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
16	国 語	国語総合	2 / 4 (1年次からの継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	な し	な し	・高等学校 新編国語総合 (第一学習社)	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識を定着させ、進んで読み、適切に話し、聞き、書こうとする姿勢を身に付け、積極的に言語活動に取り組めるようになる。 ・目的や場に応じた話し方や言葉遣いを身に付け、コミュニケーション能力を高め、円滑な人間関係が築けるようになる。 ・自分の考えをまとめて、相手や目的に応じた文章を筋道を立てて書く力を付ける。 ・文章を的確に読み取る力を養い、積極的に読書に親しむ態度を身に付ける。 ・話し方・言葉遣い・文法・表記・語句・漢字等の基礎的な知識を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	人間の風景 「十六歳のとき」 星野道夫	<ul style="list-style-type: none"> ・音読、黙読・感想 ・漢字、語彙 ・内容読解 ・作文 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の意味を理解し、正しく読むことができる。 ・漢字や語句の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・日常の人間関係や体験においても複眼的な視線を持ち、どんな影響を受けたかを文章にまとめることができる。 ・数の神秘、永遠性を感じ取ることができる。 ・「人間」という存在や生きるということについて考えを深めている。 	
	「数の不思議に 魅せられて」 小川洋子	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・内容読解 		
	短歌の世界 大切の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 ・創作 	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌の形式、表現技法を理解している。 ・短歌に親しみ、自己の思いを短歌で表現することができる。 	
	表現の実践 《漢字・語彙力》	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校で習う漢字を正しく読み、書くことができる。 ・対義語、類義語、四字熟語、同音同訓異字を理解している。 	
後 期	【古文編】 物語を楽しむ 『伊勢物語』 「筒井筒」	<ul style="list-style-type: none"> ・書写・音読 ・歴史的仮名遣い ・口語訳 ・構成 ・心情・人物像 ・感想 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解し、正しく読むことができる。 ・古今異義語に留意し、省略された主語や助詞などを補って口語訳できる。 ・構成を理解し、登場人物を捉えている。 ・登場人物の心情や行動を読み取っている。 ・人の心の普遍性を捉え、物語を楽しむことができる。 	
	表現の実践 《表現力を 身に付ける》	<ul style="list-style-type: none"> ・作文を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・5W1H、係り受けに留意した文章を書くことができる。 ・文体を統一して文章を書くことができる。 ・内容にふさわしい適切な段落分けができる。 	
後 期	「よだかの星」 宮沢賢治	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・語彙 ・構成(段落分け等) ・内容読解・寓意 ・グループ討議 ・作文 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や語句の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・主人公の心理の変化と原因を理解し、行動の選択とその結果の意味を捉えている。 ・自分の問題として考え、意見を述べ、人の意見を聞いて考えを深めることができる。 ・「いじめ」の構造や心理を理解し、自己の問題として自覚化して、考えをまとめて書くことができる。 	
	表現の実践 《漢字・語彙力》	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校で習う漢字を正しく読み、書くことができる。 ・対義語、類義語、四字熟語、同音同訓異字を理解している。 	
	【漢文編】 故事成語	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・書き下し文 ・口語訳・比喩 	<ul style="list-style-type: none"> ・返り点に従って、正しく訓読することができる。 ・たとえ話の内容や巧みさを理解している。 ・現代における故事成語の使い方を習得している。 	
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本漢字能力検定 <p>日本漢字能力検定2級を取得すると2単位、準2級を取得すると1単位の増加単位として認定される。 (国語総合を修得した場合に限る)</p>				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
17	公 民	現 代 社 会	2 / 4 (2・3年次継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	な し	な し	最新現代社会 新訂版 (実教出版) 高校生のためのふるさと教育 (富山県教育委員会)	
学 習 の 目 標		人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する基礎を養う。		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	私たちの生きる社会	地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 球面上で実際に起こっている様々な環境問題について理解し、地球の環境保全への関心を高め、自分の問題としてとらえることができる。 ・ 富山県におけるイタイタイ病について知ることにより、より身近な問題として捉えることができる。 	
		資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石油などかぎりある資源の獲得をめぐる問題から、資源をめぐる動向を考察することができる。 ・ エネルギー問題について、現状と課題を理解することができる。 ・ 人口爆発から派生する様々な問題を資料から判断し、理解することができる。 ・ 資源循環型社会の形成に向けて、どのような政策がとられているか理解できる。 	
		生命科学と情報技術の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生命の誕生について、生命倫理と現代医学の問題について理解できる。 ・ 脳死と臓器移植について、なぜ脳死が問題になるか、脳死と植物人間の違いを理解し考察することができる。 ・ 遺伝子技術の発達により、遺伝子情報とどのように向き合えばよいか、又その影響について理解することができる。 ・ 情報化が進むことによる社会の変化と問題点、対策について情報を収集し、考察の材料とすることができる。 	
後 期	青年期と自己の形成	自分らしく生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期が人生においてどのような意味を持つか理解できる。 ・ 自己形成の課題 ・ 社会参加や仕事の意義が何であるか見つけることができる 	
		人間としてよく生きる哲学と人間	<ul style="list-style-type: none"> ・ ギリシア人の理想的な生き方を理解できる。 ・ 世界の宗教の教えを知り、人間の生き方との関わりについて理解できる。 ・ 科学技術の発達が人間にどのような意義を持つのか考察することができる。 ・ 人間にとって自由や幸福がどのような意味を持つのか考察することができる。 ・ 人間にとって労働や自由はどのような意味を持つのか考察できる。 ・ 他者を尊重するとはどのような態度なのか、考察することができる。 	
	現代の民主政治と日本国憲法	現代国家と民主政治	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政治とはどのような活動なのか考察し、民主主義の形成過程について理解できる。 ・ 法の支配とはどのようなことなのか理解できる。 ・ 民主主義の実現方法と課題について理解し考察することができる。 ・ 世界の主な政治制度について、イギリス・アメリカ・中国の違いから理解できる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
18	理科	生物基礎	2	必履修
開講年次	選択群	系列	使用教科書・教材	
2	なし	なし	高校生物基礎 新訂版（実教出版） 高校生物基礎 カラーノート 改訂版（実教出版）	
学習の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則を理解しようとする姿勢を身に付ける。 ・生物的な事物・事象についての観察や実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高めようとする。 ・科学的な自然観を身に付ける。 		
単元・項目		学習内容	到達度目標	
前期	1 生物の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の共通性と多様性 ・細胞とエネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解し説明できる。 ・細胞が生物の機能上の単位であることに興味・関心をもつことができる。 ・細胞の構造と働きを説明できる。 ・代謝について理解し説明できる。 ・酵素はタンパク質からできていること、生物体内の化学反応の触媒として働いていることを理解できる。 ・呼吸のしくみについて理解できる。 ・光合成のしくみについて理解できる。 	
	2 遺伝子とその働き	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報とDNA ・遺伝情報の分配 ・遺伝情報とタンパク質の合成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミトコンドリアと葉緑体の起源について理解できる。 ・DNA研究の歴史を通して、DNAと遺伝子の関係を理解することができる。 ・DNAの特徴について説明できる。 ・体細胞分裂の過程を理解し説明できる。 ・DNAの複製と分配により、遺伝情報が伝えられることを理解できる。 ・DNAの情報に基づきタンパク質が合成されることを理解し説明できる。 	
後期	3 生物の体内環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・体内環境 ・体内環境の維持のしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部環境に対して内部環境が恒常性を維持する仕組みを理解できる。 ・心臓のしくみと体液循環について理解できる。 ・体液の組成と血液の働きについて理解できる。 ・血液凝固の仕組みを理解できる。 ・恒常性にかかわるしくみとして、肝臓、腎臓の働きを理解できる。 ・代表的な内分泌腺と、分泌される各ホルモンの働きについて理解できる。 ・体内環境の維持における自律神経とホルモンとの関わりを理解できる。 ・免疫とそれにかかわる細胞のはたらきを理解できる。 	
	4 生物の多様性と生態系	<ul style="list-style-type: none"> ・植生と遷移 ・気候とバイオーム ・生態系と物質循環 ・生態系のバランスと保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・光の強さと光合成速度の関係をグラフから読みとることができる。 ・植生、森林構造、草地の生産構造について理解できる。 ・遷移のしくみについて理解し説明できる。 ・気温と降水量の違いにより様々なバイオームが成立することを理解できる。 ・日本のバイオームについて説明できる。 ・生態系における生物の役割を説明できる。 ・物質循環とエネルギーの流れについて理解できる。 (食物連鎖、生態ピラミッド、炭素・窒素の循環) ・生態系に及ぼす人間生活の影響について理解できる。 ・生態系の保全の重要性を認識できる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
19	保健体育	体 育	2 / 7 (1～3年次まで継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	な し	な し	現代高等保健体育改訂版 (大修館)	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の合理的実践をとおして、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる。 ・運動の必要性を理解し、生涯を通して自己の能力に応じて継続的に運動ができる資質や能力を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	体づくり運動	体ほぐしの運動	・自己の体への関心と体づくりへの取り組みができる。	
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化とスポーツ ・運動技能の構造と運動の学び方 ・体ほぐしの意義と体力の高め方 	・運動の特性、効果的な練習法を理解し、知識が身に付けている。	
	陸上競技 ・長距離走 ・短距離走	3, 0 0 0 m走 <ul style="list-style-type: none"> ・ペース走・インターバル ・レペティション・トライアル 5 0 m・1 0 0 m走 <ul style="list-style-type: none"> ・走の基本技術・スタート練習 ・中間走・トライアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践を通して陸上競技の楽しさにふれている。 ・自己の技術的・体力的課題を知り、その解決を図りながら記録の向上を目指している。 	
	球技 (男子) ・サッカー	基本技術 <ul style="list-style-type: none"> ・キック・ヘディング ・ドリブル・トラッピング ・スローイング 応用技術・パスキープ (5対2) 簡易ゲーム (ハーフコート)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・サッカーの特性と戦術を理解し、ゲームの攻防を楽しむことができる。 	
後 期	(女子) ・バレーボール (ビーチボール)	基本技術 <ul style="list-style-type: none"> ・パス・サーブ ・サーブレシーブ ・フォーメーション 簡易ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・チーム全員で協力し、楽しくパスゲームができる。 	
	球技 (男子) ・ソフトボール (女子) ・ソフトボール (ティーボール)	基本技術 <ul style="list-style-type: none"> ・打つ (構え方、スイング、スタンス、バント) ・捕える (スローイング、キャッチング、捕球から送球) ・投げる (スタンダード、スリリングショット) ・走る (ベースランニング、スライディング) 簡易ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握している。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームができる。 	
後 期	球技 ・バスケットボール	基本技術・パス・ドリブル <ul style="list-style-type: none"> ・シュート・ピボット 応用技術・3対2・3対3・ポストプレー 簡易ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・バスケットボールの特性と戦術を理解し、ゲームの攻防を楽しむことができる。 	
	ダンス	エアロビクスダンス	・音楽に合わせて楽しく体を動かすことができる。	
	選択球技 ・バドミントン ・卓球	基本技術・ラケットの握り方と操作 (バドミントン) <ul style="list-style-type: none"> ・ドライブ・ハイクリア・カット・サーブ・ヘアピン ・スマッシュ・ブッシュ (卓球) ・フォアハンド・バックハンド・カット・ドライブ ・スマッシュ 簡易ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン、卓球の特徴を理解し、正しくシャトル・ボールを打つことができる。 ・簡易ゲームでラリーを楽しむことができる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
20	保健体育	保 健	1 / 2 (1・2年次で継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	な し	な し	現代高等保健体育改訂版 (大修館)	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・個人や集団の生活における健康・安全についての基礎的な知識を身に付ける。 ・健康問題を認識し、これを科学的に考察し、正しく判断し、適切に対処できる能力を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	○生涯を通じる健康 ・生涯の各段階における健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠・出産の健康 ・家族計画と人工妊娠中絶 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期の体の変化を理解し、各段階の健康課題に応じた自己の健康管理の方法を理解している。 ・信頼できる性情報と性行動の選択ができる。 ・胎児を守る母胎の役割を理解している。 ・安全で確実な避妊法を理解している。 ・結婚生活と健康のつながりを理解している。 ・加齢とともに、体と心が変わることを理解している。 ・中高年を健やかに生きる方法を理解している。 	
	・保健・医療制度と地域の保健・医療機関の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢と健康 ・高齢者のための社会の取り組み ・保健制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医薬品と健康 ・さまざまな保健活動や対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国における保健・医療制度を理解し、自らが健康のために活用できる。 	
後 期	○社会生活と健康 ・環境と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 ・環境衛生活動のしくみと働き 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気にかかわる環境問題は、地球規模に広がっていることを理解している。 ・水質汚濁や土壌汚染は、さまざまな経路で健康に影響をあたえていることを理解している。 ・大気汚染・水質汚濁・土壌汚染は相互に関連していることを理解している。 ・環境汚染を防ぐために、社会的対策がとられていることを理解し、自分ができることを実践している。 	
	・食品と環境の保健 ・労働と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食品と環境の保健と私たち ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や企業が、食品の安全を守る役割を担っていることを理解している。 ・働き方の変化にともない、健康問題が変化してきたことがわかる。 ・職業病、労働災害の予防法を理解している。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
21	外国語	コミュニケーション 英語 I	2/4 (2年次まで継続履修)	必修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	なし	なし	VISTA English Communication I New Edition (三省堂)	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 ・聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う。 ・基本的な英語の文法の知識を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	review		<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で学んだ、単語の読み方、意味、英語の句型、疑問文の作り方答え方等を正しく使い、表現することができる。 ・浮世絵から見える日本の文化と習慣を知ることができる。 ・文中に動名詞を見つける事ができる。またこれの使い方を正しく理解し、文章でも口頭でも表現できる能力を身に付ける。 	
	Toothbrushing in Edo	<ul style="list-style-type: none"> ○日本における歯磨きの文化ルーツについて知る。 ○動名詞について知る。 ○現在完了形について理解する(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去分詞の作り方の練習後、現在完了形のそれぞれの用法を理解しまたこれを表現できる。 	
	Machu Picchu	<ul style="list-style-type: none"> ○インカ文明の一端を知り、世界遺産の持つ謎と魅力も知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Machu Picchu とはどのような物なのかを、歴史を絡めて理解できる。 	
後 期	Matala and Landmines	<ul style="list-style-type: none"> ○現在完了について理解する(2) ○タイの象と人の深い絆と地雷の被害を知る。 ○受け身 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の否定・疑問文の作り方を理解し、これを英文で表現できる。 ・地雷の恐ろしさを知り、私たちがこの問題にどう向き合えばよいのかを考える ・適切な過去分詞を使う事ができる。 ・受け身の基礎を理解する。 ・受け身の(現在・過去・否定・疑問)の形を知る。これらを適切に英文で表現できる。 	
	Dick Bruna	<ul style="list-style-type: none"> ○ミッフィーの作者の社会貢献活動を知る ○努力することの大切さを考える ○関係代名詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界中で愛されるミッフィーの秘密と誕生の背景を知る。 ・関係代名詞の基礎と使い方を理解する。 ・関係代名詞をつかった表現を会話や文章中で表現することができる。 ・形式主語とは何かを理解する。これを使用した英文を解読できる。 ・辻井伸行氏の生き方を知る。 	
	Tsuji the Great Pianist	<ul style="list-style-type: none"> ○形式主語 I t ○夢の実現に必要な物を考える。 ○関係副詞 ○分詞構文 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の基礎を理解する。 	
	The Power of Words	<ul style="list-style-type: none"> ○キング牧師の演説を知る。言葉の持つ力を味わう ○仮定法過去 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの人種差別について知る。 ・キング牧師の演説を知り、言葉の持つ力について考える。 ・仮定法過去の基礎を理解する。 	
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定 準2級を取得すると2単位の増加単位として認定される(コミュニケーション英語Iを習得した場合に限る) 3級を取得すると1単位の増加単位として認定される(コミュニケーション英語Iを習得した場合に限る) 				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
22	家 庭	家庭総合	2 / 4 (1・2年で継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	な し	な し	教科書 家庭総合パートナーシップでつくる未来 (実教出版) 副教材 2018生活学Navi・資料+成分表 (実教出版)	
学 習 の 目 標		人の一人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	人とかかわって 生きる 「子どもとかか わる」	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを知る 発達のすばらしさ 子どもの生活 保育実習 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期は人間の発達段階において重要で、発育・発達には一定の順序と共通性があることがわかる。 乳幼児期は、その発達段階に応じた親の働きかけや人とのかかわりが重要であることがわかる。 子どもとの触れ合いを通して保育への関心をもち、子どもの発達の実際の姿がわかる。 	
	生活をつくる 「衣生活をつく る」	<ul style="list-style-type: none"> 人と衣服のかかわり 衣服の機能 衣服の素材を見よう 衣服の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の変遷に関心をもち、和服や洋服の構成上の特徴や被服材料、着装の特徴がわかる。 心地よい被服が、体格や体型、身体の動きに合っており、着用目的に適していることがわかる。 健康と安全・資源と有効利用の観点から被服の入手と活用、手入れ、廃棄までの被服計画の必要性がわかる。 	
	実践活動 「ホームプロジ ェクト」	<ul style="list-style-type: none"> ホームプロジェクトの実践 発表と評価 	<ul style="list-style-type: none"> 生活に関心をもち、課題を見つけ、解決に向け適切に努力し解決できる。 実践したことをレポートや発表を通して説明できる。 	
後 期	「食生活をつく る」	<ul style="list-style-type: none"> 食事の計画と調理 ライスクッキングコンテスト 	<ul style="list-style-type: none"> バランスのとれた弁当の献立をたてることができる。 手際よく調理し、彩りよく盛りつけることができる。 	
	「子どもとかか わる」	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活 親になることを考えよう 保育実習 赤ちゃんふれあい体験 	<ul style="list-style-type: none"> 親とのかかわりが将来の人間関係の基礎となることや、社会的自立には発達に応じて社会的な規範を身に付けさせることが親の重要な役割であることがわかる。 子ども生活については、基本的な生活習慣の形成、食事や衣服、健康管理と安全などの概要がわかる。 遊びは子どもの生活の大部分を占めており、遊びを通して心身の発達や健康の保持増進がされることがわかる。 	
	「住生活をつく る」	<ul style="list-style-type: none"> 人と住まいのかかわりと住まい 住まいを計画する 健康的な住まい環境 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の生活の場としての住居の条件や、家族構成やライフステージの変化と住要求の関係についてわかる。 安全で快適、健康で耐久性のある住居の機能がわかる。 平面図等を活用し住空間や住生活を考えることができる。 安全性・保健性・利便性・快適性・持続可能性の面から住宅内部や周辺環境に配慮した快適な居住について関心をもち、安心して住める環境を考えている。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別	
2 3	農 業	課 題 研 究	2 / 4 (3年次までの継続履修)	必履修	
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材		
2	な し	な し			
学 習 の 目 標		農業に関する課題を設定し、その解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身に付ける。			
単 元 ・ 項 目	学 習 内 容	到 達 度 目 標			
前 期	課題設定と研究計画	<ul style="list-style-type: none"> 課題設定 課題は、①～⑤までの2項目以上にまたがる課題を設定する。 ①調査、研究、実験 ②作品製作 ③産業現場等における実習 ④職業資格の修得 ⑤学校農業クラブ活動 	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心・進路希望等に応じて、野菜、草花、造園、作物、食料の5分野から、研究分野を選択することができる。 個人またはグループで、前年のプロジェクト学習をふまえて農業に関する適切な課題を設定することができる。 		
	研究の実施	<ul style="list-style-type: none"> 研究計画 研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 設定した課題を研究するための計画を具体的にたてることができる。 実施計画に従い、研究を行う方法を調べることができる。 設定した課題に、意欲的、計画的に取り組むことができる。 毎時間の実験結果を適切にまとめ、記録簿に記入することができる。 		
	研究の中間考察	<ul style="list-style-type: none"> 中間まとめと考察 	<ul style="list-style-type: none"> 前半の研究結果をまとめ、結果や発生した問題を考察することができる。 問題解決を目指して思考を深め、基本的な知識と技術を活用して判断し、今後の研究計画を合理的にたてることができる。 		
後 期	研究の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 継続研究 	<ul style="list-style-type: none"> 設定した課題に、創意工夫しながら創造的、実践的に取り組み、適切に処理することができる。 専門的な知識や技術を身に付け、調査、研究、実験方法を理解している。 		
	研究のまとめと発表	<ul style="list-style-type: none"> 研究のまとめと考察 要旨集原稿の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の実験結果を適切にまとめ、記録簿に記入することができる。 研究成果をまとめ、総合的に考察し、次年度にむけての反省を行うことができる。 専門的な知識や技術、理解した成果を応用し問題を解決しようとする自発的、創造的態度が身に付いている。 ワープロや表計算ソフトを用い、研究内容を的確に表現した要旨原稿を作ることができる。 		
取得可能な検定や資格					
<ul style="list-style-type: none"> 毒物劇物取扱責任者 危険物取扱者（乙種）4類 ※毒物劇物取扱責任者を取得すると2単位、危険物取扱者（乙種）4類を取得すると1単位増加単位として認定される。（課題研究の単位を取得した場合に限る）					

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
24 (1)	農 業	総合実習	3/9 (3年次までの継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	な し	前期：4分野ローテーション 後期：専攻実習 (野菜)	総合実習テキスト	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基礎・基本を農場実習を通して学び、知識と技術を身に付ける。 ・3年次の系列選択に向けて、それぞれの系列（草花、野菜、造園）に関する知識と技術を身につける。 ・野菜の特性や栽培に適した環境について学習し、良質の野菜生産が出来るようにする。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	春野菜の育苗	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗のねらい ・育苗方法とその特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ・かん水など苗管理ができる。 ・鉢上げ、鉢替えを確実にやり、その必要性を把握している。 ・よい苗の形や生育について理解している。 	
	果菜類の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・生育の経過 ・生育の特性 ・生育と環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・半促成トマトやスイカの生育経過を学習し、生育特性を理解している。 ・えき芽処理、交配、収穫調整等、技術を学習し、管理を理解できる。 ・果菜類の生育特性を理解し、栽培管理ができる。 ・花を観察し、着果習性や構造の違いを理解できる。 	
	葉菜類の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・生育の特性 ・植え付け後の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・生育に適した温度条件、土と水分の条件を学習し、栽培に応用できる。 ・適切な施肥管理ができる。 	
	○特別実習 当番実習	<ul style="list-style-type: none"> ・作型と品種の選び方 ・本畑管理 ・病虫害防除 	<ul style="list-style-type: none"> ・たねまき前の本畑の準備や栽培管理が適時できる。 ・植え付けに適する苗の大きさや植付距離を理解することができる。 ・病虫害の防除の仕方を理解することができる。 	
後 期	秋野菜の栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> ・本畑管理 ・収穫出荷 	<ul style="list-style-type: none"> ・植え付け後の中耕、追肥、除草、病虫害防除など、それぞれの管理作業の目的と方法を理解し、実施できる。 ・適期に薬剤散布ができる。 ・農産物即売会で販売や出荷方法を学び、消費者理解ができる。 ・温度、日長と生育の関係について学習し、収量、品質への影響を理解できる。 ・パイプハウスの被覆資材の交換ができる 	
	果菜類の育苗	ハウスの更新	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗の目的 ・鉢の種類と被覆資材 ・つぎ木 ・トマト半促成栽培 	
	施設園芸	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗の目的 ・鉢の種類と被覆資材 ・つぎ木 ・トマト半促成栽培 	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗に利用する被覆資材の種類と特徴を理解している。 ・苗の状態に応じた温度管理ができるよう被覆資材の選択や電熱温床の管理ができる ・つぎ木の目的を理解しいくつかの接ぎ木をやることのできる。 ・トマトの半促成栽培の準備ができる 	
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業技術検定 3級 ・農業経営実習の就業体験をすると1単位の増加単位として認定される。 				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
24 (2)	農 業	総合実習	3/9 (3年次までの継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	な し	前期：4分野ローテーション 後期：専攻実習 (草花)	総合実習テキスト	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基礎・基本を農場実習を通して学び、知識と技術を身に付ける。 ・3年次の系列選択に向けて、それぞれの系列（草花、野菜、造園）に関する知識と技術を身に付ける。 ・草花の特性や栽培に適した環境について学習し、経営と管理についての実践的な能力と態度を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	花壇用草花の出荷	・出荷調整・準備	・出荷に適した花壇苗を選別し、枯れ葉を取ったり、草丈をそろえて出荷調整したりすることができる。	
	ハウス内の環境整備		・ハウス内の除草をすることができる。	
	カラコエの栽培	・さし芽 ・植え付け後の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・さし芽などの栄養繁殖と種子繁殖の相違点を把握できる。 ・さし芽の目的や管理方法を理解し、実践することができる。 	
	シクラメンの栽培	・鉢替え	<ul style="list-style-type: none"> ・シクラメンの夏場の病害について理解することができる。 ・薬剤散布ができる。 	
	○特別実習 当番実習			
後 期	ハボタンの育苗管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ハボタンの播種 ・ハボタンの鉢上げと薬剤散布 ・ハボタンの追肥 	<ul style="list-style-type: none"> ・播種箱の準備や播種、覆土、腰水かん水が適時にできる。 ・3号ポットに適する苗を選抜し、植え付けることができる。 ・病害虫の防除の仕方を理解することができる。 	
	秋～春の草花の栽培管理 草花の販売	・プリムラ鉢替え	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢換えの目的を理解し、実践することができる。 ・農産物即売会を体験し、販売や出荷方法を理解できる。 	
	花壇用草花の育苗	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢上げ ・追肥 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇に利用する草花の種類と特徴を理解できる。 ・よい苗の条件を学習し、苗の良否が生育や収量を大きく左右することを理解できる。 ・肥料の特性、土の特性を理解し、元肥・追肥などの施肥設計ができ、栽培できる。 	
○特別実習 当番実習				
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業技術検定 3級 ・農業経営実習の就業体験をすると1単位の増加単位として認定される。 				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
24 (3)	農 業	総合実習	3/9 (3年次までの継続履修)	必修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	な し	前期：4分野ローテーション 後期：専攻実習 (造園)	総合実習テキスト	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基礎・基本を農場実習を通して学び、知識と技術を身に付ける。 ・3年次の系列選択に向けて、それぞれの系列（草花、野菜、造園）に関する知識と技術を身に付ける。 ・庭木の特性や栽培に適した環境について学習し、経営と管理についての実践的な能力と態度を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	マンリョウの栽培 タマリユウの栽培 なわの結び方 ハウス内の環境整備 ツバキの栽培 薬剤散布 ○特別実習 当番実習 鉢物・盆栽の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・マンリョウの播種 ・タマリユウの株分け ・造園作業に必要なロープワーク ・さし木 ・薬剤散布の目的と方法 ・追肥と除草 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生繁殖方法を理解し、正しい播種ができる。 ・タマリユウの繁殖方法を理解し、正しい株分けができる。 ・造園のロープワーク（男結び、うのくび等）を修得する。 ・ハウス内の除草をすることができる。 ・ツバキのさし木繁殖の方法、手順を理解し、正しいさし木ができる。 ・病害虫の防除の仕方を理解し、目的に応じて薬剤散布ができる。 ・鉢物・盆栽の追肥と除草を正確に行うことができる。 	
	後 期	環境整備 庭木の販売 庭木のせん定 庭木の雪囲い 庭木の根回し ○特別実習 当番実習	<ul style="list-style-type: none"> ・根巻き ・せん定 ・なわの結び方 ・雪囲い ・雪吊り ・根回し準備 ・溝掘り ・うめ戻し 	<ul style="list-style-type: none"> ・雑草が病害虫の温床になることを理解することができる。 ・根巻きの目的と方法を理解し、実践することができる。 ・農産物即売会を体験し、販売実習や出荷方法を学んでいる。 ・庭木のせん定を体験し、庭木管理方法を学ぶ。 ・基本的ななわの結び方が理解でき、正しく結ぶことができる。 ・庭木の正しい雪囲いができる。 ・マツなどの雪吊りができる。 ・庭木の正しい根回しができる。
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業技術検定 3級 ・農業経営実習の就業体験をすると1単位の増加単位として認定される。 				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
24 (4)	農 業	総合実習	3/9 (3年次までの継続履修)	必修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	なし	前期：4分野ローテーション 後期：専攻実習（作物）	総合実習テキスト	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基礎・基本を農場実習を通して学び、知識と技術を身に付ける。 ・水稻の特性や栽培に適した環境について学習し、経営と管理についての実践的な能力と態度を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	水稻の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗管理 ・水田準備 ・田植え ・溝掘り ・病虫害防除 	<ul style="list-style-type: none"> ・播種ができる。 ・育苗期を出芽・緑化・硬化に分け、それぞれの生育期間に適する環境を理解し、健康な苗の育成ができる。 ・植え付けるのに適した圃場条件を理解し、整地することができる。 ・初期除草剤散布について、除草剤を正しくより有効に使用することができる。 ・稚苗の植え付け適期を理解し、活着の良い天候条件を選び、田植えをすることができる。 ・補植として、手植えが正しくできる。 ・水田における水管理の重要性を知り、手溝掘りができる。 ・イネの病気の症状、害虫の種類を知り、適切な農薬を選び、安全で効果的に薬剤散布ができる。 	
	○特別実習 当番実習			
後 期		<ul style="list-style-type: none"> ・収穫 ・乾燥調整 ・秋起こし ・育苗準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫適期を知り、収穫作業を正しく行うことができる。 ・もみの乾燥が品質の高い米に仕上げる過程であることを理解することができる。 ・もみすり機の働きと主要部の構造について理解できる。 ・稲刈り取り後の水田整備の必要性を体得できる。 ・育苗器材の洗浄及び消毒を徹底し、育苗環境を清潔に保つことができる。 ・床土の条件を理解し、強健な苗が生育する床土を作ることができる。 ・均一な種まきができるように、正しい床土入れができる。 ・育苗期の環境条件を理解し、均一で強健な苗を育成でき、また風等に耐えるビニールハウスを作ることができる。 	
	○特別実習 当番実習			
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業技術検定 3級 ・農業経営実習の就業体験をすると1単位の増加単位として認定される。 				

N O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
25	地理歴史	世界史 A	2	必修
開講年次	選択群	系列	使用教科書・教材	
3	なし	なし	実教出版 新版世界史A 新訂版 浜島書店「プロムナード世界史」	
学習の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解する。 ・人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考を培う。 ・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 		
単元・項目		学習内容	到達度目標	
前	オリエンテーション ユーラシアの文明と交流	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・西アジア世界、イスラーム世界 ・ヨーロッパ世界 ・南アジア、東南アジア世界 ・東アジア ・内陸アジア世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界史学習を進める上での、国名や国の位置などの基本的な事項を理解している。 ・西アジアの風土と諸民族、イラン文明の伝統、イスラームの成立と拡大に触れ、イスラーム世界の特徴を把握している。 ・ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシア・ローマ文明の伝統、キリスト教に触れ、ヨーロッパ世界の特徴を把握している。 ・南アジアや東南アジアの風土と諸民族、仏教の成立、ヒンドゥー教とカースト制度、イスラームの影響に触れ、南アジア世界の特徴を把握している。 ・東アジアの風土と諸民族、漢字文化、儒教、中国を中心とする国際体制に触れ、日本を含む東アジア世界の特徴を把握している。 	
	ユーラシアの文明と交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーラシアの交流 ・世界の一体化の第一歩 	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸アジアの騎馬遊牧民、オアシス都市の活動を中心に、陸のネットワークの成長とモンゴルによるユーラシアの一体化を把握している。 ・元の大都を拠点とする東西交流と黄海や東シナ海における交易の活性化、倭寇、勘合貿易、琉球王国の交易活動を中心に、日本列島を含む東アジア海域の交流圏としての成長を把握している。 	
期	結びつく世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスや宗教改革がどのような背景のもとに起こり、どのような性格を持っていたか理解し、説明できる。 ・ヨーロッパの対外進出の理由を考察し、16世紀の世界にどのような変化を与えたか諸資料を活用して追究できる。 ・イスラーム諸帝国の成立と発展、衰退のおおまかな歴史をヨーロッパとの関係に注目しながら理解している。 ・明朝の衰退にともなう東アジア世界の変貌、さらに最後の中華帝国としての清朝の中国支配を理解している。 ・ヨーロッパのアジアやアフリカ、アメリカ大陸への進出によるそれらの地域の植民地の様子と世界経済への影響を考察を深め、理解している。 	
	近代ヨーロッパ・アメリカと世界の変動	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ ・ラテンアメリカの変動 ・東アジアの変容と日本の近代化 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命とは何か、またその成立条件について考察し、説明できる。 ・産業革命によって世界がどのように変化したかを諸資料を活用して理解し、その歴史的意義を考察できる。 ・アメリカの独立とフランス革命の流れとそれらを推進する基本的な考え方、そこに現れる様々な階層の人々の立場を理解し、この革命の歴史的意義を判断し説明できる。 ・各国の自由主義・国民主義運動の高揚がウィーン体制を崩壊させ、近代国民国家を形成していく過程を理解している。 ・資本主義の最高段階として列強が帝国主義に向かう背景を考察し、その結果としてのアジア・アフリカの植民地化を理解している。 ・列強国内の社会主義運動の高揚や植民地における民族運動の背景を理解している。 ・列強の帝国主義政策によってアジア・アフリカ・ラテンアメリカの諸地域がどのように変貌したかについて多面的に理解している。 ・ヨーロッパ列強の東アジア進出の過程を理解し、その中で日本が近隣諸国への進出政策をとった背景を多面的に理解し、説明できる。 	
後	地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・急変する社会と帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第二次世界大戦 ・アジア太平洋戦争 	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化、政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などから、20世紀という時代の特徴を人類の視野から把握できる。 ・第一次世界大戦とロシア革命の原因や性格について理解し、その後の世界に与えた影響を多角的に考察することができる。 ・戦間期において、いったん図られた国際協調の特徴を理解し、それが世界恐慌とファシズムの台頭により崩れ去ったことに気づいている。 ・世界平和の維持のためには何が必要か、自分の考えを持っている。 ・第一次世界大戦中・戦後の国際状況が植民地・従属国に与えた影響を多面的に考察し、各地域の民族運動の特徴を理解している。 ・第二次世界大戦に至った経過を理解し、その惨禍を諸資料を活用して把握し、その後の世界に与えた影響を多角的に判断できる。 	
	地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊 ・現代の世界 ・持続可能な世界を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察できる。 ・冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因や歴史的背景を多面的に追究し、国際社会の変化や国民国家の課題などについて考えることができる。 ・1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現を理解し、日本が世界の諸国、諸地域と多様性を認めあいながら共存する方向などについて考察できる。 ・原子力の利用、情報科学など現代の科学技術の人類への寄与と課題を追究し、人類の生存と環境、世界の平和と安全などについて考え、持続可能な世界を形成するために国際的な交流と協調の必要性に気づくことができる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
26	公 民	現代社会	2 / 4 (2・3年次継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
3	なし	なし	最新現代社会 新訂版 (実教出版) 高校生のためのふるさと教育 (富山県教育委員会)	
学 習 の 目 標		広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解し、それらに関する諸課題について主体的に考え、公正な判断力、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	現代の民主政治と日本国憲法	日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立過程を理解し、日本国憲法のもつ意味や、三大原理、大日本帝国憲法と日本国憲法の違いに気づいている。 日本国憲法の全体像にふれながら、平和や人権などの問題について自分の考えを持っている。 自衛隊・憲法改正問題など昨今の憲法に関するさまざまな論点について関心を深めている。 基本的人権、新しい人権について、理解を深め、その本質を把握している。 人権に関する判例を活用しながら、権利と義務、「公共の福祉」などについて理解を深めている。 	
		日本の政治機構と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 国会、内閣、裁判所などの政治機構とそれぞれの役割について、意欲的に理解し、主権者としての政治に対する関心を深めている。 国会、内閣、裁判所に関する題材をさまざまなメディアを通して収集できる。 司法制度について正確に把握し、司法制度改革についても考察できる。 内閣の権限や違憲法令審査権について、正しく把握できる。 地方自治の本旨を理解し、地方自治のあり方と国と地方の関係を地方分権をもとに考察できる。 議会政治における政党の役割について把握できる。 	
	現代の経済社会と国民生活	現代の経済社会	<ul style="list-style-type: none"> マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。 資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較理解できる。 家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのかを理解できる。 株式会社など現代の企業について、所有と経営の両面から理解できる。 財政の基本的なしくみや役割、公債の抱える問題を理解し、財政政策及び金融政策の重要性に気づく。 	
後 期	国際社会と人類の課題	日本経済の特質と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> 経済成長率の推移、物価変動などの資料、経済政策に関する資料などを利用して、日本経済の動向を調査できる。 経済成長とともに人々の生活が豊かになる一方で、公害などの社会問題が発生したことに気づく。 新聞記事などの資料を利用して調査し日本が直面する経済問題について考察する。 労働基本権と労働三法を正しく把握した上で、雇用情勢の変化について理解第二次世界大戦後からの国際社会の展開を把握し、冷戦終結後の国際社会の動向について理解できる。 日本の社会保障制度を体系的に捉えるとともに、現在の制度上の問題点と課題について判断できる。 	
		国際社会と人類の課題	<ul style="list-style-type: none"> 国際政治と国内政治の違いを理解し、国家間に格差が生じていることを把握できる。 国際連合の役割と問題について理解できる。 冷戦時代と冷戦終結後の日本の安全保障体制について考察できる。 人種・民族問題とNGOが国際政治に与える影響について、関心を持つ。 民族紛争などを例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察できる。 国際平和に関する問題について、日本が貢献できることについてさまざまな視点で考察できる。 	
	現代社会の諸課題	国際政治の動向	<ul style="list-style-type: none"> 国際経済の基本的な概念や理論、国際収支の基本的な構成を理解できる。 なぜ、為替相場は変動するのかを考察し、円高・円安が、自分の生活にどのように影響するかについて関心をもつ。 円とドルの為替相場について、日本企業の海外での現地生産を例に考察する G A T Tの歩みとW T Oの役割について理解する。 国際協調のために、どのような国際機関が存在するか、把握する。 貿易の自由化が経済に大きな影響を与え、それによって、地域的経済統合の動きなどがみられることを理解する。 世界には経済格差の問題があることを把握し、日本の国際貢献のあり方について考察できる。 経済のグローバル化の進行による経済の現状と課題を考察することができる。 	
		国際経済の動向と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習の成果の上に立って課題を追究し、生活に関連する面を中心に課題を見出し、資料を収集することにより、自分なりの考えを持つことができる。 身の回りの具体的な事例をもとに、地球環境問題などの世界的な諸問題について考察し国際社会における日本の役割について考察できる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
27	理科	化学基礎	2	必修
開講年次	選択群	系列	使用教科書・教材	
3	なし	なし	高等学校 改訂 新化学基礎 (第一学習社) 基本 ステップノート 化学基礎 (浜島書店)	
学習の目標		<ul style="list-style-type: none"> 日常生活と関係の深い化学的現象をとおして、自然科学に対する理解を深め、科学的思考を身に付ける。 教科で身につけた知識から、自然現象を合理的に分析し、農業科目や日常生活に活用する態度と探究能力を身に付ける。 		
単元・項目		学習内容	到達度目標	
前期	第I章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素	<ul style="list-style-type: none"> 物質とその構成要素 化合物・単体と構成元素 成分元素の確認 原子のなりたち 同位体とその利用 原子の電子配置 元素の周期律と周期表 	<ul style="list-style-type: none"> 混合物、純物質の性質を理解できる。 混合物中の純物質を分離する方法を理解し、物質を分類できる。 元素の概念、種類、元素記号について理解できる。 元素成分の特有の反応を理解し、物質を分類できる。 物質はすべて原子から成り立つことを理解できる。 原子には中性子の数が異なる同位体があることを理解できる。 原子核の構造について理解できる。 周期表と周期律について理解できる。 	
	第2節 物質と化学結合	<ul style="list-style-type: none"> イオン イオンから出来る物質 共有結合 分子の構造と極性 分子から出来る物質 共有結合 金属結合 金属の利用 	<ul style="list-style-type: none"> 原子がイオンになる仕組みとイオンの性質について理解できる。 イオンからなる物質の性質を理解できる。 分子における共有結合の成り立ちについて理解できる。 分子の構造を理解できる。 分子からなる物質の性質を理解できる。 	
後期	第II章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> 原子量 分子量・式量 物質質量 溶解と濃度 溶解度 化学変化と化学反応式 化学反応式と量的関係 熱化学方程式 ヘスの法則 	<ul style="list-style-type: none"> 金属結合と金属の性質を理解できる。 原子量を求めることができる。 分子量・式量を求めることができる。 物質質量を理解し、化学反応の整数性を理解できる。 水溶液の濃度を計算できる。 化学反応式を組み立て、反応物質や生成物質の量的関係を求めることができる。 物質質量を理解し、化学反応の整数性を理解できる。 化学変化や状態変化は熱などのエネルギーの出入りがあることを理解できる。 	
	第2節 酸と塩基とその反応 第3節 酸化還元反応 無機物質 有機化合物	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基 酸と塩基の強弱と水素イオン濃度 中和反応と塩の生成 量的関係と中和滴定 酸化と還元 酸化数と酸化還元反応 酸化剤・還元剤と金属のイオン化傾向 酸化還元反応の利用 非金属元素の単体と化合物 金属元素の単体と利用 有機化合物 高分子化合物 	<ul style="list-style-type: none"> 酸性、塩基性を理解し、それぞれの溶液の性質を理解できる。 酸と塩基の定義について理解できる。 pH計算ができる。 身近な物質のpHを調べることができる。 中和反応を理解し、生成する塩について説明できる。 中和滴定の実験を通して中和反応の量的関係を説明できる。 酸化、還元反応を理解し、化学反応やそれに伴う物質の量的関係を理解、説明できる。 電池や電気分解の反応をイオン、酸化の概念を通して理解、説明できる。 無機物質の単体や化合物の性質や反応を理解、説明できる。 高分子化合物の性質を理解、説明できる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
28	保健体育	体 育	2 / 7 (1～3年次まで継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
3	な し	な し	現代高等保健体育改訂版 (大修館)	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の合理的実践をとおして、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる。 ・運動の必要性を理解し、生涯を通して自己の能力に応じて継続的に運動ができる資質や能力を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	体づくり運動	体ほぐしの運動	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体への関心と体づくりへの取り組みができる。 	
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化とスポーツ ・運動技能の構造と運動の学び方 ・体ほぐしの意義と体力の高め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性、効果的な練習法を理解し、知識が身に付いている。 	
	陸上競技 ・長距離走 ・短距離走	3, 000m走 ・ペース走・インターバル ・レペティション・トライアル 50m・100m走 ・走の基本技術・スタート練習 ・中間走・トライアル	<ul style="list-style-type: none"> ・実践を通して陸上競技の楽しさにふれている。 ・自己の技術的・体力的課題を知り、その解決を図りながら記録の向上を目指している。 	
	球技 (男子) ・サッカー	基本技術 ・キック・ヘディング ・ドリブル・トラッピング ・スローイング 応用技術・パスキープ(3対3) ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・サッカーの特性と戦術を理解し、ゲームの攻防を楽しむことができる。 	
(女子) ・バレーボール (ビーチボール)	基本技術 ・パス・サーブ ・サーブレシーブ ・フォーメーション ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・チーム全員で協力し、楽しくパスゲームができる。 		
後 期	球技 (男子) ・ソフトボール (女子) ・ソフトボール (ティーボール)	基本技術 ・打つ(構え方、スイング、スタンス、バント) ・捕える(スローイング、キャッチング、捕球から送球) ・投げる(スタンダード、スリリングショット) ・走る(ベースランニング、スライディング) ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握している。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームができる。 	
	球技 ・バスケットボール	基本技術 ・パス・ドリブル・シュート・ピボット 応用技術 ・3対3・スクリーン・カットインプレー ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を身に付けている。 ・バスケットボールの特性と戦術を理解し、ゲームの攻防を楽しむことができる。 	
	ダンス	エアロビクスダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて楽しく体を動かすことができる。 	
期	選択球技 ・バドミントン ・卓球	基本技術・ラケットの握り方と操作 (バドミントン)・ドライブ・ハイクリア・カット・サーブ・ヘアピン・スマッシュ・プッシュ (卓球)・フォアハンド・バックハンド・カット ・ドライブ・スマッシュ ゲーム(シングルス・ダブルス)	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン、卓球の特徴を理解し、正しくシャトル・ボールを打つことができる。 ・簡易ゲームでラリーを楽しむことができる。 	
取得可能な検定や資格				
なし				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
29	農 業	課 題 研 究	2 / 4 (2年次からの継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
3	な し	な し		
学 習 の 目 標		農業に関する課題を設定し、その解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身に付ける。		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	課題設定と研究計画	<ul style="list-style-type: none"> 課題設定 課題は、①～⑤までの2項目以上にまたがる課題を設定する。 ①調査、研究、実験 ②作品製作 ③産業現場等における実習 ④職業資格の修得 ⑤学校農業クラブ活動 研究計画 	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心・進路希望等に応じて、野菜・草花・造園・作物 食料の5分野から、研究分野を選択することができる。 個人またはグループで、前年の研究をふまえて、農業に関する適切な課題を設定することができる。 	
	研究の実施	<ul style="list-style-type: none"> 研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 設定した課題を研究するための計画を、具体的にたてることができる。 実施計画に従い、研究を行う方法を調べることができる。 設定した課題に、意欲的、計画的に取り組むことができる。 毎時間実験結果を適切にまとめ、記録簿に記入することができる。 	
	研究の中間考察	<ul style="list-style-type: none"> 中間まとめと考察 	<ul style="list-style-type: none"> 前半の研究結果をまとめ、結果や発生した問題を考察することができる。 問題解決を目指して思考を深め、基本的な知識と技術を活用して判断し、今後の研究計画を合理的にたてることができる。 	
後 期	研究の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 継続研究 	<ul style="list-style-type: none"> 設定した課題に、創意工夫しながら創造的、実践的に取り組み、適切に処理することができる。 専門的な知識や技術を身に付け、調査、研究、実験方法を理解している。 毎時間実験結果を適切にまとめ、記録簿に記入することができる。 	
	研究のまとめと発表	<ul style="list-style-type: none"> 研究のまとめと考察 要旨集原稿の作成 発表 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果をまとめ、総合的に考察することができる。 専門的な知識や技術、理解した成果を応用し問題を解決しようとする自発的、創造的態度が身に付いている。 ワープロや表計算ソフトを用い、研究内容を的確に表現した要旨原稿を作成することができる。 校内課題研究発表会で、プレゼンテーションソフトを使用し、研究成果をわかりやすく発表することができる。 	
取得可能な検定や資格				
<ul style="list-style-type: none"> 毒物劇物取扱責任者 危険物取扱者（乙種）4類 ※毒物劇物取扱責任者を取得すると2単位、危険物取扱者（乙種）4類を取得すると1単位増加単位として認定される。（課題研究の単位を取得した場合に限る）				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
30 (1)	農 業	総合実習	3/9 (1年次からの継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
3	な し	野 菜	総合実習テキスト	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> それぞれの系列（草花、野菜、造園）の知識と技術を身に付ける。 野菜の特性や栽培に適した環境について学習し、良い品質で多くの収量を上げることが出来るようにする。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	春野菜の育苗	<ul style="list-style-type: none"> 育苗のねらい 育苗方法とその特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ハウス内の除草をすることができる。 鉢上げ、鉢替えを確実にやり、その必要性を把握している。 ハードニング（硬化）について理解している。 	
	果菜類の栽培	<ul style="list-style-type: none"> 生育の経過 生育の特性 生育と環境 	<ul style="list-style-type: none"> 半促成トマトやスイカの生育経過を学習し、生育特性を理解している。 えき芽処理について学び、その必要性について把握している。 夏秋メロンの生育特性を理解し、たねまきや育苗管理ができる。 雌花、雄花を観察し、花のつきかたや構造の違いを理解している。 	
	葉菜類の栽培 ○特別実習 当番実習	<ul style="list-style-type: none"> 生育の特性 植え付け後の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 生育に適した温度条件、土と水分の条件を学習し、栽培に応用できる。 薬剤散布を適時に正確にできる。 	
後 期	秋野菜の育苗管理	<ul style="list-style-type: none"> 作型と品種の選び方 本畑管理 病虫害防除 	<ul style="list-style-type: none"> たねまき前の本畑管理や栽培管理が適時できる。 植え付けに適する苗の大きさや植付距離を理解することができる。 病虫害の防除の仕方を理解することができる。 	
	秋野菜の栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> 本畑管理 施肥設計 収穫出荷 	<ul style="list-style-type: none"> 植え付け後の管理として、中耕、追肥、除草、病虫害防除などあるが、それぞれの目的と方法を理解し、実施できる。 肥料の特性、土の特性を理解し、元肥・追肥などの施肥設計ができ、栽培できる。 薬剤散布ができる。 メロンを収穫し、収穫の喜びを味わうことができる。 農産物即売会を体験し、販売や出荷方法を理解できる。 よい苗の条件を学習し、苗の良否が生育や収量を大きく左右することを理解している。 	
後 期	果菜類の育苗	<ul style="list-style-type: none"> 育苗の目的 鉢の種類と被覆資材 つぎ木 	<ul style="list-style-type: none"> 育苗に利用する被覆資材の種類と特徴を理解している。 つぎ木の目的を理解している。 つぎ木の方法に応じて適切な台木の選定ができ、わりつぎ、さしつぎ、よびつぎの特徴を理解し、実際につぎ木ができる。 	
	○特別実習 当番実習			
取得可能な検定や資格				
・日本農業技術検定 3級				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
30 (2)	農 業	総合実習	3/9 (1年次からの継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
3	な し	草 花	総合実習テキスト	
学 習 の 目 標		<ul style="list-style-type: none"> それぞれの系列（草花、野菜、造園）の知識と技術を身につける。 草花の特性や栽培に適した環境について学習し、経営と管理についての実践的な能力と態度を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	花壇用草花の鉢替えと出荷	・鉢替えの方法と商品の出荷方法	・鉢替え適期を理解し、生産物出荷方法の知識を身につけることができる。また、付加価値をもたせた出荷方法を創意工夫することができる。	
	開花調節	・植物ホルモン剤の利用	・開花調節により商品価値を高める基本的技術について理解し、実践することができる。	
	カラコエの栽培	・さし芽 ・植え付け後の管理	<ul style="list-style-type: none"> さし芽などの栄養繁殖と種子繁殖の相違点を理解できる。 さし芽の目的や管理方法を理解し、実践することができる。 	
	シクラメンの栽培 ○特別実習 当番実習	・鉢上げ ・鉢替え	<ul style="list-style-type: none"> 鉢替え方法の知識（病気予防）を理解し、植え付け位置、適切な用土量、ウォータースペースを正確に守った鉢替えができる。 薬剤散布をすることができる。 	
	ハボタンの育苗管理	<ul style="list-style-type: none"> ハボタンの播種 ハボタンの鉢上げと薬剤散布 ハボタンの追肥 	<ul style="list-style-type: none"> 播種箱の準備や播種、覆土、腰水かん水を適宜できる。 3号ポットに適する苗を選抜し、植え付けることができる。 病害虫の防除の仕方を理解することができる。 	
後 期	秋～春の草花の栽培管理 草花の販売	<ul style="list-style-type: none"> プリムラの鉢替え シネラリアの鉢替え 	<ul style="list-style-type: none"> 鉢換えの目的を理解し、正確かつ迅速に実践することができる。 農産物即売会を体験し、販売や出荷方法を理解することができる。 	
	花壇用草花の育苗 ○特別実習 当番実習	<ul style="list-style-type: none"> 春花壇用草花の鉢上げ ベゴニア・センパフローレンスの仮植 追肥 	<ul style="list-style-type: none"> 花壇に利用する草花の種類と特徴を理解できる。 よい苗の条件を学習し、苗の良否が生育や収量を大きく左右することを理解できる。 ピンセットを使い、播種箱からセルトレイに丁寧かつ正確に移植することができる。 肥料の特性、土の特性を理解でき、元肥・追肥などの施肥設計ができる。 	
取得可能な検定や資格				
・日本農業技術検定 3級				

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
30 (3)	農 業	総合実習	3/9 (3年次までの継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
3	な し	造 園	総合実習テキスト	
学習の目標		<ul style="list-style-type: none"> それぞれの系列（草花、野菜、造園）の知識と技術を身に付ける。 庭木の特性や栽培に適した環境について学習し、経営と管理についての実践的な能力と態度を身に付ける。 		
単 元 ・ 項 目		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	マンリョウの栽培	・マンリョウの播種	・実生繁殖方法を理解し、ただしい播種ができる。	
	タマリユウの栽培	・タマリユウの株分け	・タマリユウの繁殖方法を理解し、正しい株分けができる。	
	ツバキの栽培	・さし木	・ツバキのさし木繁殖方法、手順を理解し、正しいさし木ができる。	
	薬剤散布	・薬剤散布の目的と方法	・病害虫の防除の仕方を理解し、目的に応じて薬剤散布ができる。	
後 期	鉢物・盆栽類の栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> ・追肥と除草 ・鉢上げの方法 ・鉢替えの方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢物・盆栽の追肥と除草を正確に行うことができる。 ・鉢上げ方法を知り、適切な位置に植え込むことができる。 ・鉢替え方法の知識（病気予防）を理解し、植え付け位置、適切な用土量、ウォータースペースを正確に守った鉢替えができる。 	
	○特別実習 当番実習			
後 期	環境整備 庭木の販売	・根巻き	<ul style="list-style-type: none"> ・雑草が病害虫の温床になることを理解することができる。 ・根巻きの目的と方法を理解し、実践することができる。 ・農産物即売会を体験し、販売や出荷方法を理解できる。 	
	庭木の防寒	<ul style="list-style-type: none"> ・なわの結び方 ・雪囲い ・雪吊り 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的ななわの結び方が理解でき、正しく結ぶことができる。 ・庭木の正しい雪囲いができる。 ・マツなどの雪吊りができる。 	
	庭木の根回し	<ul style="list-style-type: none"> ・根回し準備 ・溝掘り ・うめ戻し 	<ul style="list-style-type: none"> ・庭木の正しい根回しができる。 	
○特別実習 当番実習				
取得可能な検定や資格				
・技能検定 造園2級・3級				